

体表温度測定機能付 マルチターミナル UFT-2060TM 取扱説明書



©2020 TB-eye Ltd.

バージョン 1.02

弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご質問・ご要望については、ご遠慮なく販売店までご連絡ください。

免責事項

株式会社ティービーアイは取扱説明書の完全性および正確性については万全を期しておりますが、その内容については公式に保証するものではありません。この取扱説明書の使用およびサイバー攻撃、ハッカー攻撃、またはウイルス攻撃による情報漏えいなどを含むその結果については、すべてユーザーが責任を負うこととなります。本仕様は製品の性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

※設計および仕様は予告なく変更する場合があります。

安全上のご注意



注意！

デフォルトパスワードは最初のログインに使用されます。アカウントのセキュリティを確保するため、最初のログイン後に、パスワードを変更してください。強力なパスワード（8文字以上）を設定するよう推奨します。

本機は、必要な安全上の知識や技能を有し、トレーニングを受けた専門の技術者が設置、調整、保守を行ってください。本機の使用を開始するにあたり、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書およびクイックガイドをよくお読みになり、記載事項をお守りください。

警告/注意

警告 重度のケガ、死亡する危険性がある内容です。	注意 装置を損傷したり軽度のケガを負ったりする危険性がある内容です。
---------------------------------	---

警告

- 必ず弊社別売の電源アダプターを使用してください。
- 指定の定格（DC12V 2A）を満たす電源コードを使用してください。
- 一つのアダプターに複数の本機を接続しないでください。
- 電源及び信号線を接続時、クイックガイドの接続ケーブル、配線の説明を確認してください。I/O ケーブル、ウィーガンドケーブル、DC 電源入力ケーブルは極性を確認して電源アダプターを正しく接続してください。また、未使用の本体配線は、リード部を切って、他の配線とショートしないように処理してください。
- 本機を、デスクトップスタンド、フロアスタンドに取り付け設置する場合は、平面上にしっかりと固定してください。不安定な状態は、転倒の原因になります。
- 本機に液体がかからないようにしてください。また、お手入れの際、本機に直接水をかけないでください。
- 異臭や発煙が発生したら、製品の使用を中止してください。このような場合にはただちに電源を切り、販売代理店にお問い合わせください。
- 本機が正常に動作しない場合は、お近くの販売代理店にお問い合わせください。本機は絶対に分解又は改造しないでください。（当社は無許可の改造や修理ミスに起因する問題に対して責任を負いません。）

注意

- 本機に物を落としたり、強い衝撃を与えないでください。過度の振動や磁気妨害のある場所に近づけないでください。
- 高温、低温、高湿度、埃、すすのある場所に設置しないでください。
- 本機を移動する場合には、電源を切って移動あるいは設置してください。
- 落雷対策をしていない環境では落雷により故障する場合があります。（当社は落雷に起因する問題に対しては責任を負いません。）
- 通気性のいい場所に設置してください。

- 本マニュアルで使用されている表記規則は次のとおりです。

フォーマット	説明
太字	ボタン、メニュー、タブ、ウィンドウ名、ダイアログ名、パラメータ名を示します。たとえば、 OK をクリックするか、 Device Management を選択します。
「」	メッセージを示します。たとえば、「Hanging Up」はインターフェースに表示されます。
>	マルチレベルメニューへの移動を示します。たとえば、 Device Management > Add Device に移動します。この例では、 Add Device は Device Management のサブメニューです。

- 本書には下表の記号が使用されています。危険な状況を回避するため、各記号の指示に従い、製品を正しく使用してください。

記号	説明
 警告！	重度のけが、死亡する危険性がある内容です。
 注意！	装置を損傷したり軽度のけがを負ったりする危険性がある内容です。
 ヒント！	製品の使用に関する役に立つ情報や追加情報を意味します。

目次

1 本取扱説明書の適用範囲	1
2 製品概要	1
3 製品の外観	1
4 製品の取り付け	2
5 本機での操作	3
5.1 初期インターフェース	3
5.2 メインインターフェース	3
5.3 広告モード	6
5.4 マスク/温度測定インターフェース	6
5.5 アクティベーションの設定	11
5.5.1 基本情報	12
5.5.2 デバイスの位置	13
5.5.3 ネットワーク設定	13
5.5.4 ユーザ管理	14
5.5.5 アクティベーションパスワード	17
5.5.6 管理者パスワード	18
5.5.7 認識シーン	18
5.5.8 音量	20
5.5.9 デバイスマンテナンス	20
5.5.10 一般設定	21
6 従業員情報の管理	21
6.1 従業員情報入力	21
6.2 従業員情報の削除	21
7 ウェブ操作	22
7.1 ログイン	22
7.1.1 準備	22
7.1.2 ウェブインターフェースへのログイン	24
7.2 パラメータの構成	25
7.2.1 共通	25
7.2.2 ネットワーク	42
7.2.3 プライバシーマスク	44
7.2.4 インテリジェント	44
7.2.5 イベント	61

7.2.6 ストレージ.....	66
7.2.7 セキュリティ.....	69
7.2.8 システム.....	72
8 よくある質問.....	74

1 本取扱説明書の適用範囲

本取扱説明書の適用範囲

モデル	名前
UFT-2060TM	体表温度測定機能付マルチターミナル

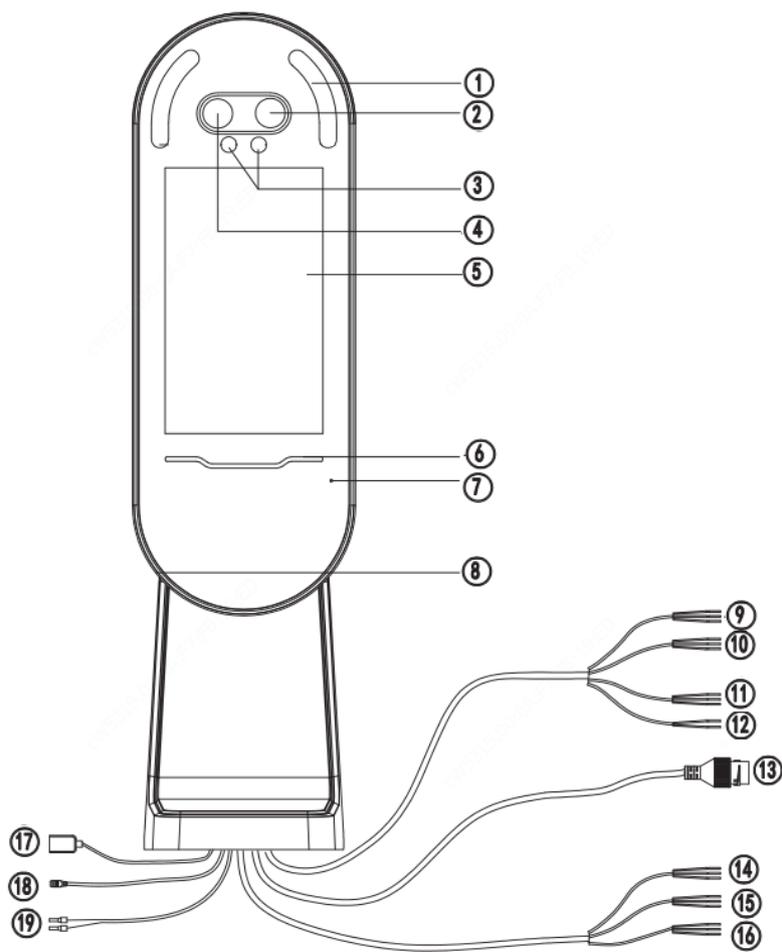
2 製品概要

体表温度測定機能付マルチターミナルは、高い認識率、大容量ストレージ、高速認識を備えたアクセス制御デバイス的一种であり、開扉するための顔認証、温度正常/異常測定機能、マスク検知をサポートしています。また、アラーム出力も可能です。本機にはディープラーニングアルゴリズムが実装されており、人物を正しく認識し、従来のアクセス制御デバイスに見られたカード改ざん問題を防止します。小売店、オフィスビル、工場・産業施設、商業施設、スポーツジム、医療、介護施設などさまざまな市場に広くご利用いただけます。

3 製品の外観

下図は本デバイスの外観を示しています。デスクトップスタンドが標準装備されています。
(実際のデバイス外観は本書と異なる場合があります。)

図 3-1 デバイスの構造



1. 補助ランプ (2)	2. カメラ1
3. 赤外線補助ランプ (2)	4. カメラ2
5. 表示画面	6. パススルーインジケータ
7. マイク	8. スピーカー
9. ウィーグランド出力	10. ウィーグランド入力
11. RS232	12. RS485
13. ネットワークインターフェイス	14. アラーム入力
15. IO-1	16. IO-2
17. USB	18. 電源出力 (DC 5V)
19. 電源入力 (DC12V±25%)	

4 製品の取り付け

デバイスの配線および取り付け方法については、本機のクイックガイドを参照してください。

5 本機での操作

5.1 初期インターフェース

本機を初めて使用する場合または工場出荷時の状態に戻す場合に、ユーザーはアクティベーションパスワードを設定する必要があります。アクティベーションパスワードは、[5.5 アクティベーションの設定](#) インターフェースへのログインに使用されます。



ヒント！

- パスワードには、少なくとも8文字を含める必要があります（大文字、小文字、数字、アンダーバー、ハイフンのうち、少なくとも2種類を含む）。
- アクティベーションパスワードは、**管理者**がウェブインターフェースにログインするためのパスワードと一致しています。アクティベーションパスワードを変更した場合、新しいパスワードを使用してウェブインターフェース（[7.1.2 ウェブインターフェースへのログイン](#)参照）にログインします。

アクティベーションパスワードを設定した後、

図 5-2 が表示されます。アクティベーションパスワードを後で変更する必要がある場合、[5.5.5 アクティベーションパスワード](#)を参照してパスワードを変更してください。

図 5-1 アクティベーションパスワードの設定インターフェース

ようこそ

まずアクティベーションパスワードを設定してください。

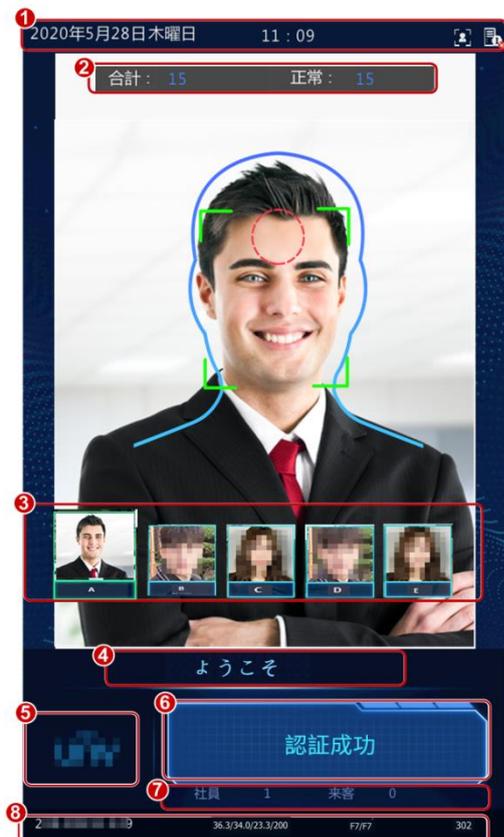
admin

OK

5.2 メインインターフェース

本機に表示されるメインインターフェースは、[デバイス情報](#)を参照してください。

図 5-2 メインインターフェース



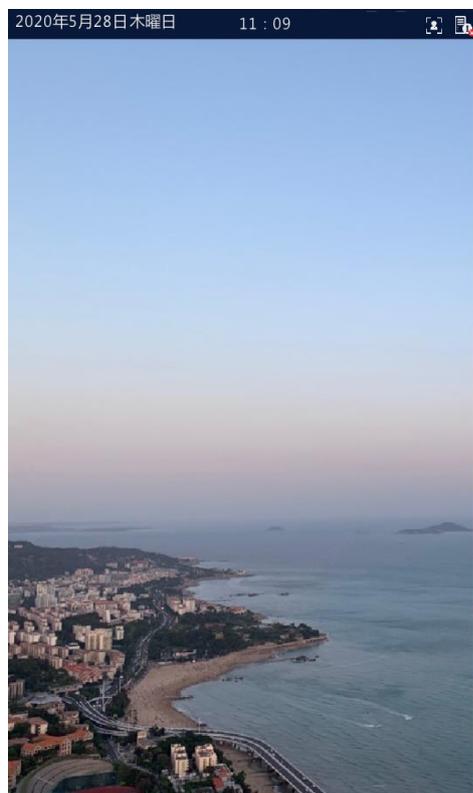
番号	説明
1	<p>さまざまなサービスの現在の日付、時刻、および接続状態を表示します。</p> <p> は左から順に、次の項目を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔スキャンモードが有効かどうか サーバー1がオンラインかどうか <p> ヒント!</p> <p> のアイコンは「否定」を示します。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> 合計: 検知された人の総数。 一般: 平熱の人の数 <p>このインターフェースは、温度測定機能が有効な場合にのみ表示されます。詳細な操作の説明については、5. 詳細設定を参照してください。</p>
3	<p>ライブラリで特定された人物の写真と名前を表示します。登録されている1枚以上の顔写真の表示を本機で有効にするには、6. 認識結果の表示を参照してください。</p> <p>複数の顔を選択すると、画面の左側に、直近で正常に識別された人物に関する情報が表示されます。インターフェースは、特定に成功した直近の最大5人までの情報を表示できます。</p>
4	<p>タイトルバー。ユーザーが定義できます。操作の詳細については、9.2カスタムロゴとプロンプトを参照してください</p>

番号	説明
5	ユーザーが定義できるロゴバー。操作の詳細については、 9.2カスタムロゴとプロンプト を参照してください
6	認識結果（認識に成功、未登録など）、認識モード（顔スキャン、カードスワイプなど）、その他の情報を表示します。
7	従業員ライブラリと訪問者ライブラリの人数を表示します。
8	下部のステータスバー デバイスのIPアドレス、温度、温度収集時間、温度測定モジュールソフトウェアとハードウェアのバージョン情報、照合時間を表示します。

5.3 広告モード

本機は広告に対応しています（画像 3 枚まで）。広告の設定については、[9.1 広告モード](#)を参照してください。

図 5-3 広告のインターフェース



広告モードでは、人物が認識（顔スキャンまたはカードスワイプによる）に合格した場合、システムは広告モードを終了しません。顔スキャンに失敗、または画面をタップした場合、システムは広告モードを終了し、本機は [5.2 メインインターフェース](#) を表示します。

5.4 マスク/温度測定インターフェース

現在の新型コロナウイルスの流行に対応して、企業、駐車場、コミュニティは温度を測定して、入口と出口を通過する人々のマスク着用の有無をチェックしています。これは担当者が手作業で行うため、疲弊して、二次感染のリスクが高まります。本機は、人がマスクを着用しているかどうかチェックし、温度を測定できます（体表温度測定モジュールが必要となり、額の温度を測定できます）。異常な温度（事前設定された最高温度のしきい値を超える）やマスク非着用の人に対して、本機は、表示画面上に警告を表示し、警告音を鳴らし、実際の利用シーンに応じてドアを開くかどうかを判断することで、防疫を実現します。設定の詳細については、[5. 詳細設定](#)と [5.5.7 認識シーン](#)を参照ください。

ヒント!

- 額の温度を測定するために温度測定機能が有効になっている場合、[図 5-4](#)に示すように、画面上で人の顔の輪郭に合わせ、前額の中心を赤い円に向ける必要があります。
- 額が体表温度測定モジュールから適切な距離にあることを確認します。推奨距離は 0.5～0.7m です。
- 額の温度を測定する必要がある場合、額を前髪、帽子、サングラスなどの物体で覆わないようにしてください。上記のような物体がある場合、温度を測定する 30 秒～1 分前に、額から取り除く必要があります。
- 温度測定機能には、体表温度測定モジュールが必要です。このモジュールは、RS485 を介して本機に接続できます。設定については、6.1 シリアルポートを参照してください。
- 温度測定機能と、安全ヘルメット検出機能を併用しないでください。

1. マスク検知と温度測定

本機でマスク検知機能と温度測定機能の両方を有効にします。ライブラリに情報が保存されている人が本機の前を通過すると、表示画面上に検知結果が表示されます。

図 5-4 平熱でマスクを着用

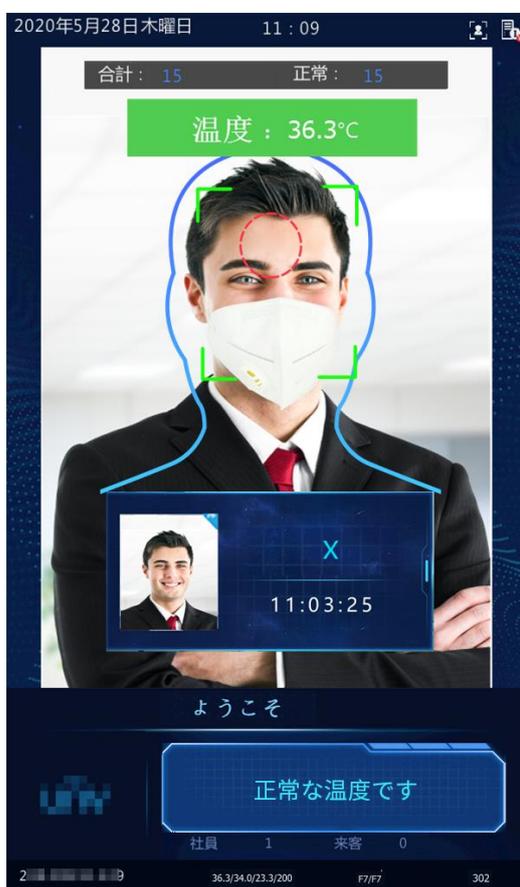
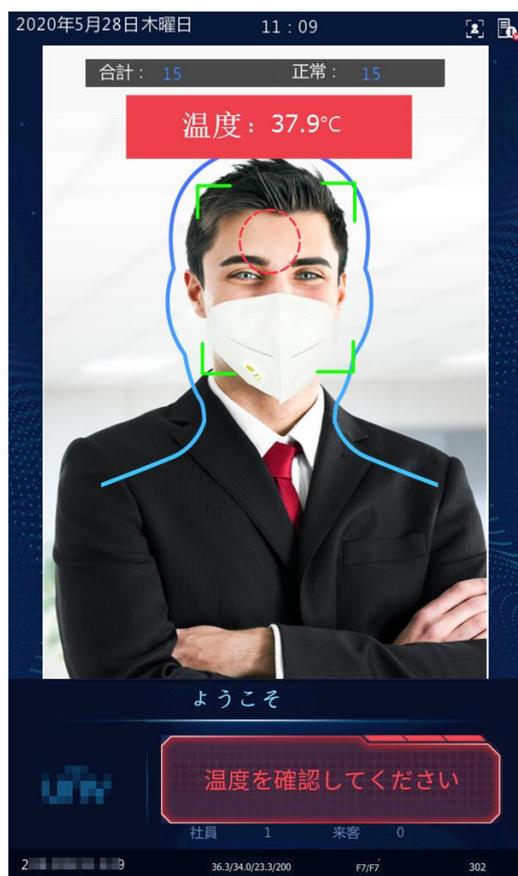


図 5-5 マスクを着用しているが異常な温度



ヒント！

温度測定機能とマスク検知機能の両方が有効になっている場合、マスク検知の前に温度測定が行われます。異常な温度が検知されると、表示画面上に「異常な温度」の警告が表示され、マスクを着用しているかどうかに関係なく警告音が鳴ります。

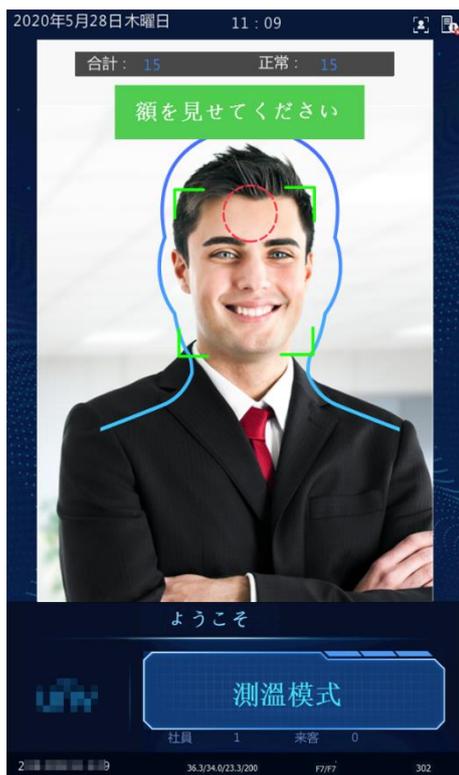
図 5-6 平熱だがマスクは非着用



2. 温度測定モード

本機は、温度測定機能は有効だがフェイスライブラリに認識モードが設定されていない、純粋な温度測定モードをサポートしています（詳細については、[顔ライブラリの管理](#)を参照してください）。このモードでは、本機は、温度が異常に高い人の実際のシーンに基づいてドアを開くかどうかを決定します。設定の詳細については、[5. 詳細設定](#)をご覧ください。

図 5-7 温度測定モード

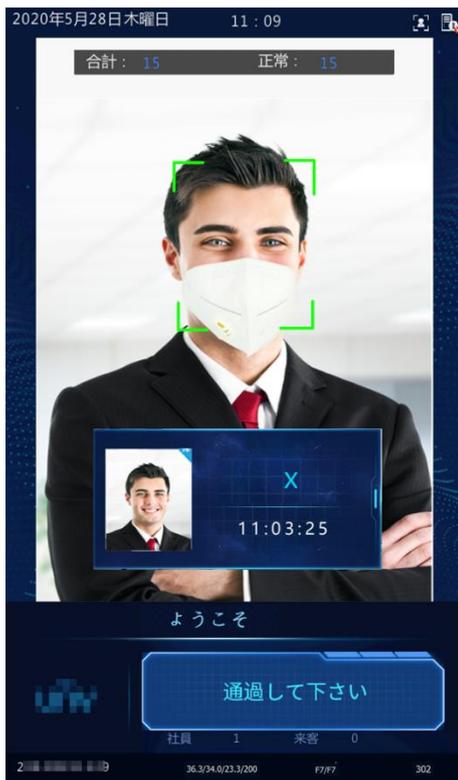


- 平熱：検知された人の温度は正常です。表示画面上のプロンプトと音声プロンプトについては、[図 5-4](#) を参照してください。
- 異常な温度：検知された人の温度が異常です。表示画面上のプロンプトと音声プロンプトについては、[図 5-5](#) を参照してください。

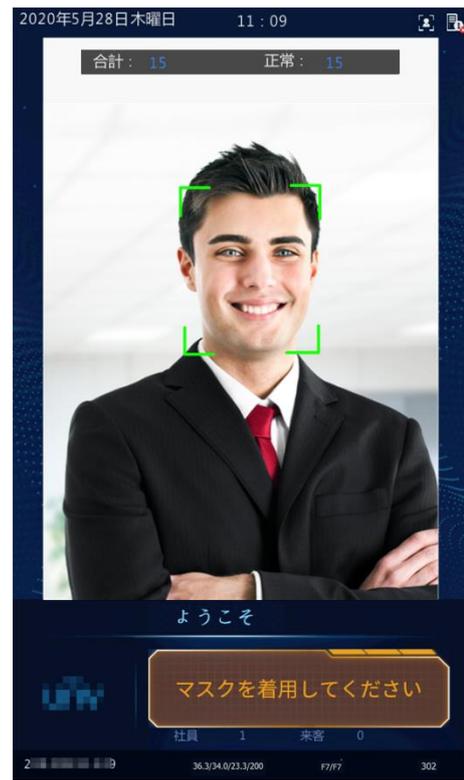
3. マスク検知

本機は、マスク検知をサポートしています。ライブラリに情報が保存されている人がマスクを着用していない場合、表示画面上で警告が表示され、警告音が鳴ります。マスクを着用していない人の場合、実際のシーンに基づいて、本機がドアを開けるかどうかを判断します。設定の詳細については、[5. 詳細設定](#)を参照してください。

図 5-8 マスク検知



マスクを着用している



マスクを着用していない

5.5 アクティベーションの設定

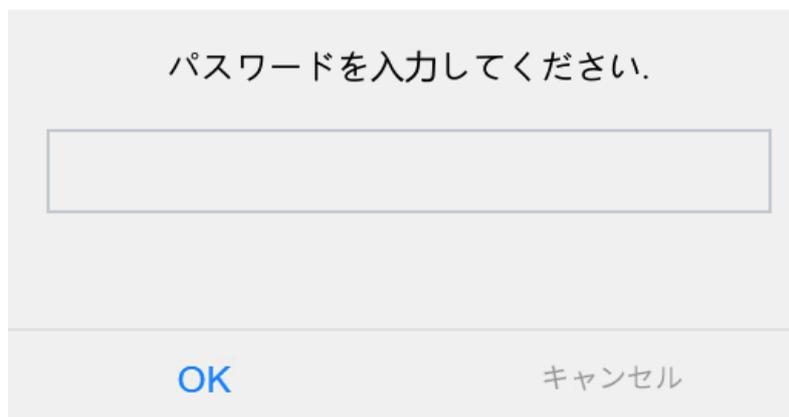
本機のメイン画面を長押し（3 秒以上）します。パスワード入力インターフェースが表示されたら、設定したいアクティベーションパスワードを入力して、**アクティベーションの設定**インターフェースに進みます。パスワードを忘れた場合、お近くの販売店までご連絡して、サポートを受けてください。



ヒント！

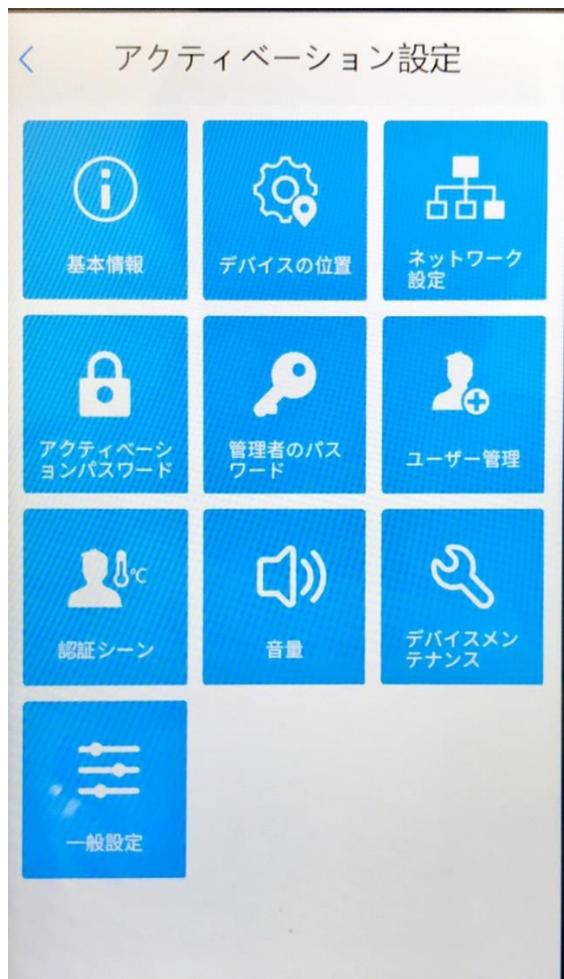
初期アクティベーションパスワードは、[5.1 初期インターフェース](#)で設定します。ローカルデバイスまたはウェブインターフェースで変更されている場合、新しいアクティベーションパスワードを入力します。

図 5-9 アクティベーションパスワードの入力インターフェース



アクティベーションの設定インターフェースでは、本機の基本情報を表示したり、デバイスの場所、ネットワーク、パスワードを設定したり、従業員情報や認証シーンの入力を行うことができます。

図 5-10 アクティベーションの設定インターフェース



5.5.1 基本情報

基本情報インターフェースを使用すると、現在のデバイスの状態をリアルタイムで表示できるため、デバイスの状態を把握し、デバイスをより適切な状態に維持できます。

アクティベーションの設定インターフェースで、 をタップして、基本情報インターフェースに移動します。

図 5-12 ネットワークの設定インターフェース



(2) 次の表を参考に、ネットワークのパラメータを設定します。

表 5-1 パラメータの説明と設定

パラメータ	パラメータの説明と設定
IPアドレス	デバイスのIPアドレスを入力します。 デバイスのIPアドレスは、ネットワーク全体で一意に定まる必要があります。
サブネットマスク	デバイスのサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デバイスのデフォルトゲートウェイを入力します。

(3) **保存** をタップして、ネットワークの設定を保存します。

5.5.4 ユーザ管理

本機は、従業員情報を入力できます。デバイスに情報が正常に入力されている従業員は、カードまたは資格情報をスワイプしたり、顔スキャンによりアクセス可能になります。

1. 顔写真の収集に関する条件

- ホワイトリストに人物を追加する場合、次の条件を厳守して顔写真を収集してください。
- 帽子を被らず、マスク、サングラスをかけず、顔の輪郭が解る顔全体が映った正面の写真である必要があります。
- 登録中の本機の画面には、収集している人物の顔(写真)のみが表示している必要があります。(複数人写真禁止)
- 白や青などの単色の背景である事が望ましい。
- 撮影の際には、適度な明るさの光が必要です。暗すぎたり明るすぎる写真、色が異常な写真は受け付けられません。

2. 従業員情報入力操作プロセス



- (1) アクティベーションの設定インターフェースで、**ユーザー管理** をタップして、**ユーザ管理**インターフェースに移動します。

図 5-13 ユーザ管理インターフェース

- (2) 次の表を参照しながら、従業員情報入力を設定します。

表 5-2 パラメータの説明と設定

パラメータ	パラメータの説明と設定	備考
名前	入力必須です。 本人の名前を入力します。	/
顔ライブラリ	顔ライブラリを選択します。 ウェブインターフェースで顔ライブラリの設定と管理ができます。詳しくは 4. 顔ライブラリ をご覧ください。	/
カード番号	従業員のカード番号を入力します。 入力に成功すると、従業員はカードをスワイプしてアクセスできるようになります。	従業員情報を正しく入力できるように、少なくとも1つのパラメータを設定する必要があります。
顔写真	1. 顔写真の収集に関する条件 を参照して顔写真を収集、入力します。 入力に成功すると、従業員は顔スキャンによってアクセスできるようになります。	

- (3) 人物の顔写真を収集して入力するには、次の操作を行います。
- a インターフェースのプロンプトに従い、カメラに向くように依頼します。

- b 表示画面に表示される写真が [1. 顔写真の収集に関する条件](#) に示す条件を満たしている場合、



をタップして、顔のスナップショットを収集します。下図を参照してください。



は戻るボタンです。

図 5-14 顔写真の収集と入力

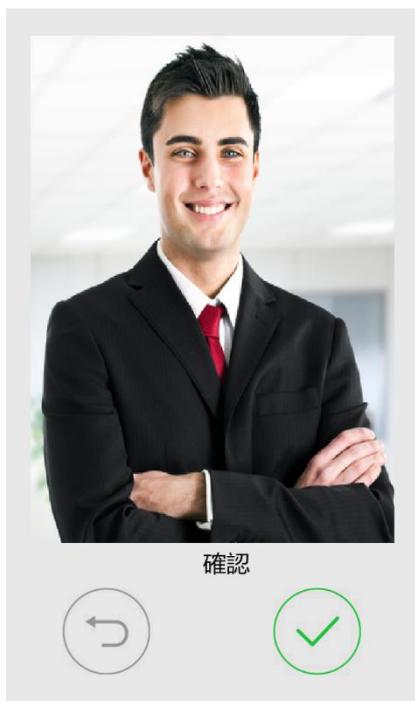


- c 顔写真確認インターフェースで、 をタップして、収集した顔写真を確認します。



は戻るボタンです。

図 7-15 顔写真確認インターフェース



(4) ユーザ管理インターフェースで、**保存** をタップして、入力した従業員情報を保存します。

5.5.5 アクティベーションパスワード

設定されたアクティベーションパスワードを変更するには、次の手順を実行します。



(1) アクティベーションの設定インターフェースで、**アクティベーションパスワード** をタップして、アクティベーションパスワードインターフェースに移動します。

図 5-16 アクティベーションパスワードのインターフェース

(2) 古いパスワードと新しいパスワードを入力し、必要に応じて新しいパスワードを確認します。



ヒント！

- パスワードには、少なくとも8文字を含める必要があります（大文字、小文字、数字、アンダーバー、ハイフンのうち、少なくとも2種類を含む）。
- 確認用パスワードは、新しいパスワードと一致している必要があります。
- アクティベーションパスワードは、**管理者**がウェブインターフェースにログインするためのパスワードと一致しています。アクティベーションパスワードを変更した場合、新しいパスワードを使用してウェブインターフェースにログインします。

(3) **保存**をタップして、アクティベーションパスワードの変更を完了します。

5.5.6 管理者パスワード

パスワードによるドアの開錠機能により、ユーザーは管理者パスワードを入力してドアを開くことができます。管理者パスワードは、デバイス管理者（管理センターの人など）に適用されます。

管理者パスワードはデフォルトで無効になっています。管理者パスワードを有効にする必要がある場合は、**はい**をタップし、パスワードを**パスワード**と**確認**ボックスに入力します。



ヒント！

- パスワードは8文字の文字列でなければなりません。
- 確認用パスワードは、パスワードと一致している必要があります。

図 5-17 管理者パスワードの設定インターフェース

パスワード設定

有効にします はい いいえ

パスワード

確認

● ヒント：8文字のパスワードを入力してください。

保存

5.5.7 認識シーン

このインターフェースを使用すると、本機の認識シーン、温度測定範囲、温度アラーム値、その他のデータを設定できます。次の表は、詳細な設定を示しています。

図 5-18 認識シーンのインターフェース

<
認証シーン

温度測定のみ

顔検知 + 温度測定

顔認証 + 温度測定

ヒント：その他の認証設定を行うには、Web画面にログインして設定してください。

マスク検知

温度単位 °C °F

温度測定範囲 35.5 °C ~ 42.0 °C

温度アラームしきい値 37.3 °C

ヒント：アラームのしきい値を超えると、異常な高温になります。

保存

パラメータ		説明と設定
認識シーン	温度測定のみ	本機は、体表温度のみを測定し、その他の認識は行いません。表示画面のプロンプトについては、 温度測定モード を参照してください。 注意：このシーンでは、本機で設定されているすべてのライブラリの認識モードが消去されます。
	顔スキャン + 温度測定	顔認識に成功し、温度が正常である場合にのみ、その人の通過を許可します。表示画面のプロンプトについては、 マスク検知と温度測定 を参照してください。
	顔認証 + 温度測定	フェイスホワイトリストモード + 温度測定モードを採用しています。 顔認識に成功し、温度が正常である場合にのみ、その人（ライブラリに情報が保存されている）の通過を許可します。本機のプロンプトについては、 マスク検知と温度測定 を参照してください。 注意：このシーンは、デフォルトの従業員ライブラリが 顔ライブラリの管理 に存在する場合にのみ設定できます。
マスク検知		実際のアプリケーションシーンに基づいて、有効または無効にします。
温度設定	温度単位	オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • °C • °F 実際のシーンに応じてパラメータを設定します。
	温度管理範囲	値の範囲：[30~45]、デフォルトの範囲：[35.5-42] 実際のアプリケーションシーンに基づいて、範囲を設定します。

パラメータ	説明と設定
温度アラームしきい値	<p>体表温度測定モジュールは、ここで設定したしきい値より高い温度を検知した場合、表示画面に「異常な温度」の警告が表示され、警告音が鳴ります。</p> <p>値の範囲：[30~45]、デフォルト値：37.3</p>

5.5.8 音量



アクティベーションの設定インターフェースで、をタップして、音量、及びアラーム音（5種類）の選択を設定できます。。

パラメータ	パラメータの説明と設定
音量	<p>音量を変更します。</p> <p>（デフォルト値は 100）</p>
アラーム音種類	<p>高温時のアラーム音を 5 種類の中から選択できます。</p> <p>（デフォルト値はアラーム音 1）</p>

5.5.9 デバイスマンテナンス

デバイスマンテナンスインターフェースでは、本機の再起動とデフォルト設定の復元ができます。

図 5-19 デバイスマンテナンスインターフェース



- 再起動：<再起動>をクリックした後、確認画面で<OK>をクリックして、デバイスの再起動を完了します。
- デフォルトに復元

- ▶ <デフォルト>をクリックした後、ポップアップ確認画面で<OK>をクリックしてデフォルトに戻します。
システム管理者のログインパスワード、ネットワークポートパラメータ、システム時間、スーパーパスワード、およびプロジェクトパスワードを除いて、他のすべてのパラメータは工場出荷時の設定に復元されます。
- ▶ 最初に  をクリックして、<デフォルト>をクリックした後、ポップアップ確認画面で<OK>をクリックして工場出荷時の設定に戻します。
この時点で、すべてのパラメーターが工場出荷時の設定に復元されます。

5.5.10 一般設定

白色LED点灯時の明るさを設定変更できます。

パラメータ	パラメータの説明と設定
輝度	ディスプレイ表示オン時の白色LEDの輝度を変更します。 設定値は0~1,000（デフォルト値は500）

6 従業員情報の管理

6.1 従業員情報入力

3. ローカル入力

本機では、ローカルで従業員情報を入力できます。操作の詳細については、[5.5.4 ユーザ管理](#)を参照してください。

4. ウェブインターフェースでの入力

本機のウェブインターフェースで従業員情報をインポートできます。操作の詳細については、[2. 従業員情報の管理](#)を参照してください。

5. ガードステーションソフトウェアを使用した入力

ガードステーションソフトウェアで従業員情報をエクスポートできます。詳しい操作については、ソフトウェアのオンライン資料を参照してください。

6.2 従業員情報の削除

6. ウェブインターフェースでの削除

本機のウェブインターフェースで、従業員情報を削除できます。操作の詳細については、[2. 従業員情報の管理](#)を参照してください。

7. ガードステーションソフトウェアを使用した削除

ガードステーションソフトウェアで従業員情報を削除できます。詳しい操作については、ソフトウェアのオンライン資料を参照してください。

7 ウェブ操作

7.1 ログイン

7.1.1 準備

製品のクイックガイド（デバイスの付属品に含まれている）を参照して本機の取り付けと配線を行います。本機を電源に接続し、起動します。本機は Web ブラウザを使用して管理および保守ができます。次の例では、Windows 7.0 以降で実行されている Internet Explorer 10.0 を使用しています。

1. ログイン前のチェック

- クライアント PC と本機間のネットワーク接続が良好である。
- PC に Internet Explorer バージョン 10.0 以降がインストールされている。
- （オプション）解像度が 1440 x 900 に設定されている。

2. 信頼できるサイトとして IP アドレスを追加する

図 7-1 インターネット設定

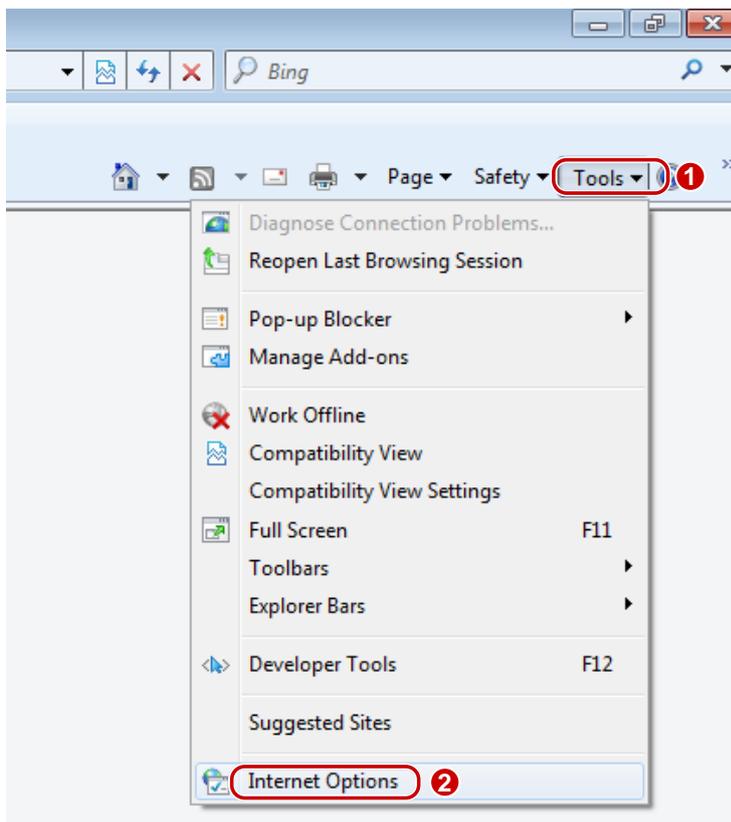
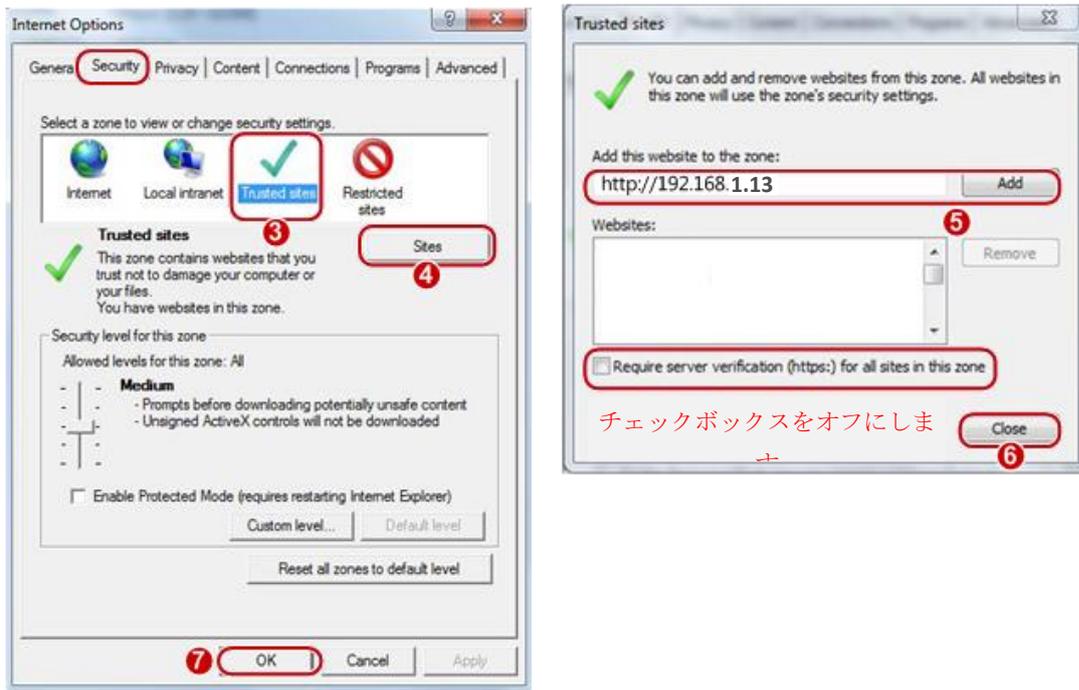


図 7-2 信頼できるサイトとして IP アドレスを追加



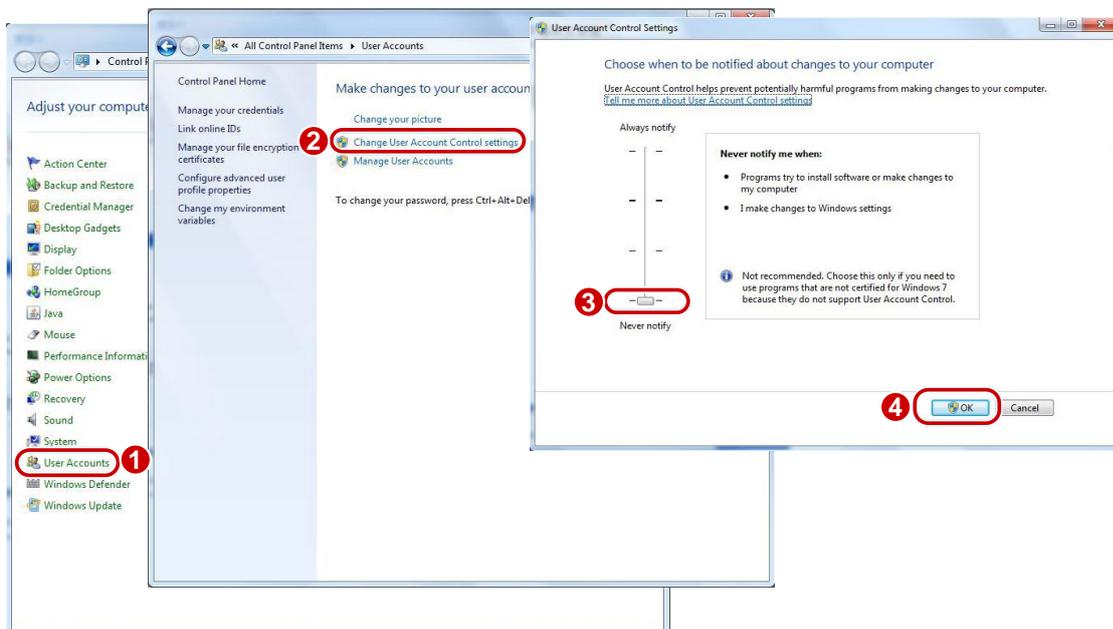
ヒント！

この例の IP アドレス 192.168.1.13 は、デフォルト IP アドレスです。アドレスを変更した場合は、実際のアドレスを入力してください。

3. (オプション) ユーザーアクセスコントロール設定の変更

デバイスにアクセスする前に、ユーザーのコントロール権限を最小限に設定することを推奨します。スタート> コントロールパネルを選択します。コントロールパネルウィンドウで、次の手順に従って、ユーザーのコントロール権限を最小限に設定します。

図 7-3 コントロール権限の設定



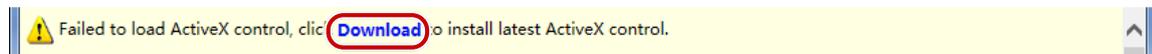
7.1.2 ウェブインターフェースへのログイン

デバイスのデフォルトの静的 IP アドレスは 192.168.1.13 です。このデバイスは、IP アドレス 192.168.0.13 およびサブネットマスク 255.255.255.0 を使用した単純なログインもサポートしています。

動的ホスト構成プロトコル (DHCP) は、デフォルトでデバイス有効になっています。DHCP サーバーがネットワークで使用されている場合、IP アドレスがダイナミックに割り当てられることがあります。この場合、ログインには実際の IP アドレスを使用します。動的 IP アドレスが割り当てられたときに実行される操作については、[こちら](#) をクリックして参照してください。

ウェブインターフェース (例として、Internet Explorer 10) にログインする手順は次のとおりです。

- (1) ブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力し、**Enter** キーを押します。
- (2) 初めてウェブインターフェースにログインすると、下図のようなプラグインインストールのプロンプトが表示されます。インターフェースの指示に従って、プラグインのインストールを完了し (インストールするには、ブラウザをすべて閉じる必要があります)、Internet Explorer を再起動して、システムに再度ログインします。



ヒント!

- ActiveX を手動で読み込むには、アドレスバーに `http://IP address/ActiveX/Setup.exe` と入力し、**Enter** キーを押します。
- デフォルトパスワードは最初のログインに使用されます。アカウントのセキュリティを確保するため、最初のログイン後に、パスワードを変更してください。強力なパスワード (8 文字以上) を設定するよう推奨します。
- デバイスは、ログインの失敗回数を制限して、不正なアクセスから保護しています。6 回続けてログインが失敗すると、自動的にデバイスは 5 分間ロックされます。

- (3) ユーザー名とパスワードを入力し、**ログイン** をクリックします。

図 7-4 ログインインターフェース

次の表は、インターフェースのパラメータとプラグイン、およびそれらの構成を示しています。

表 7-1 パラメータの説明と設定

パラメータ/プラグイン	説明	設定
	ウェブインターフェースにログインするための	実際の条件に基づいて、ユーザ

パラメータ/プラグイン	説明	設定
ユーザー名/パスワード	ユーザー名とパスワード。 初回ログイン時： デフォルトのユーザー名は admin です。 管理者がウェブインターフェースにログインするためのパスワードは、アクティベーションパスワードと同じです。アクティベーションパスワードを変更した場合は、ここに新しいパスワードを入力します。	一名とパスワードを入力します。
ライブビュー	<ul style="list-style-type: none"> 選択すると、ウェブインターフェースにログインした後、すべてのライブビュー画面にライブビュー動画が表示されます。 選択を解除すると、ライブビューが手動で有効にされた後にのみ、ライブビュー動画が表示されます。 	実際の条件に応じてパラメータを設定してください。 本例では選択されています。
リセット	リセットをクリックすると、ユーザー名、パスワードおよびパスワード保存ボックスの入力内容が消去されます。 言語やライブビューなどの他のボックスは、リセットまたは消去されません。	/

7.2 パラメータの構成

7.2.1 共通

1. 基本情報

- 基本情報

基本情報インターフェースを使用すると、現在のデバイスの状態をリアルタイムで表示できるため、デバイスの状態を素早く把握し、デバイスをより適切な状態に維持できます。

(1) 設定 > 共通 > 基本情報を選択し、基本情報タブをクリックします。

図 7-5 基本情報インターフェース

基本情報		外部装置
基本情報		
型番	OET-523L-NB	
ファームウェアバージョン	[REDACTED]	
ハードウェアバージョン	A	
ブートバージョン	V1.15	
シリアル番号	[REDACTED]	
ネットワーク	[REDACTED]	
ステータス		
システム時刻	2020/9/2 14:58:55	
操作時間	0日 4時間 40分	
リフレッシュ		

(2) リフレッシュをクリックすると、デバイスが最新の状態に更新されます。
更新インターフェースでは、現在のデバイスのステータス情報を表示できます。

- 外部装置

外部装置インターフェースでは、体表温度測定モジュール関連の情報を表示できます。

設定 > 共通 > 基本情報を選択し、外部装置タブをクリックします。

図 7-6 外部装置

基本情報		外部装置
温度測定モジュール		
型番	254	
ファームウェアバージョン		
ハードウェアバージョン	00	



ヒント！

ファームウェアとハードウェアのバージョンが一致した場合にのみ、温度測定機能を正常に使用できます。

2. ローカル設定

PC にローカルパラメータを設定します。

- (1) 設定 > 共通 > ローカル設定を選択し、ローカル設定インターフェースに移動します。
- (2) 次の図に、ローカル設定インターフェースを示します。次の表を参考に実際の条件に基づいて、パラメータを変更します。

図 7-7 ローカル設定インターフェース

インテリジェントマーク	
トリガーされていないタ...	無効にします ▼
ビデオ	
処理モード	流暢さ優先 ▼
プロトコル	TCP ▼
オーディオ	
エンコードフォーマット	G.711U ▼
録画とスナップショット	
録画	時間別サブセクション ▼
サブセクション時間 (min)	30 [1-60]
ストレージがいっぱいの...	<input checked="" type="radio"/> 上書き録画 <input type="radio"/> 録画を停止します
総容量(GB)	10 [1~1024]
ローカル録画	TS ▼
ファイルフォルダ	C:\[redacted]veillance_IPC\IPC ブラウズ... オープン
保存	

表 7-2 パラメータの説明と設定

エリア	パラメータ	説明
インテリジェントマーク	未トリガーターゲット	サポートされていません。
ビデオ	処理モード	<p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> リアルタイム優先：ネットワークの状況が良好な場合に推奨されます。 スムージング優先：ライブビデオでタイムラグを小さくしたい場合に推奨されます。 超低遅延：ライブビデオでタイムラグを最小限に抑えたい場合に推奨されます。 <p>ネットワークの状況が良好な場合は、リアルタイム優先が推奨されます。ネットワークに遅延があった場合は、スムージング優先が推奨されます。ライブビューの遅延度をリアルタイム優先よりも低くする必要がある場合は、超低遅延が推奨されます。</p>
	プロトコル	<p>メディアストリームを送信して PC でデコードする際に使用されるプロトコルを設定します。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> UDP TCP
音声	エンコードフォーマット	クライアントによる音声エンコードフォーマットを選択設定します。
録画とスナップショット	録画	<p>ローカル録画サブセクションタイプ。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間による分割：コンピュータ内の各録画ファイルの録画済みビデオの再生時間です。例：2分。 サイズによる分割：コンピュータに保存されている各録画ファイルのサイズです。例：5M。
	サブセクション時間 (分)	<p>このパラメータは、録画が時間による分割に設定されている場合にのみ表示されます。</p> <p>値の範囲は 1 分から 60 分です。</p>

エリア	パラメータ	説明
		実際の条件に基づいて、値を入力できます。
	サブセクションサイズ (MB)	このパラメータは、録画がサイズによる分割に設定されている場合にのみ表示されます。 値の範囲は 10MB から 1024MB です。 実際の条件に基づいて、値を入力できます。
	ストレージが一杯の場合	オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● 上書き録画：コンピュータ内で割り当てられているストレージスペースを使い果たした場合、デバイスは、新しい録画ファイル用のスペースを作るため、既存の録画ファイルを削除します。 ● 録画停止：コンピュータ内で割り当てられているストレージスペースが一杯になると、自動的に録画が停止します。
	容量の合計 (GB)	ローカル録画に割り当てられている容量の合計です。 値の範囲は 10GB から 1024GB です。 実際の条件に基づいて、値を入力できます。
	ファイルフォルダ	スナップショット写真の保存パスです。

(3) 保存 をクリックして、設定を保存します。

3. イーサネット

本機が他のデバイスと通信できるように、本機の IP アドレスなどの通信設定を変更します。



ヒント！

IP アドレスを変更した後は、新しい IP アドレスを使用してログインする必要があります。

(1) 設定 > 共通 > イーサネットを選択し、イーサネットインターフェースに移動します。

図 7-8 イーサネットの設定インターフェース

(2) 上の図の ① IP アドレスを取得しますを設定します。

- IP アドレスを取得しますが静的に設定されている場合、次の図を参考にして設定を完了します。

- (1) 上の図の ② が示す通り、IPv6 の設定はサポートされていません。
- (2) 上の図の ③ で示すパラメータを設定します。

表 7-5 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
MTU	値の範囲は576から1500です。 このパラメータは、IPアドレスを取得しますがPPPoEに設定されている場合は表示されません。
ポートタイプ	デフォルト値は、ファーストイーサネットです。デフォルト値を保持します。
操作モード	オプションは次のとおりです。 10Mハーフデュプレックス 10Mフルデュプレックス 10M自動ネゴシエーション 100Mハーフデュプレックス 100Mフルデュプレックス 100M自動ネゴシエーション 自動ネゴシエーション

- (3) **保存** をクリックして、設定を保存します。

3. 時間

ユーザーは、次の方法で本機のシステム時刻を正しく調整できます。

- (1) **設定 > 共通 > 時間** を選択し、**時間** インターフェースに移動します。

図 7-12 時間の設定インターフェース

表 7-6 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
同期モード	オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● システム設定との同期：時間は、システムの初期設定の時間に同期されます。 ● NTP サーバーとの同期：時間は、NTP サーバーの時間に同期されます。 ● 管理サーバー（ONVIF）との同期：時間は、管理サーバーの時間に同期されます。 ● 直近のサーバー時間と同期：時間は、ネットワーク内の全サーバーの直近の時間に同期されます。
タイムゾーン	正しいタイムゾーンを選択します。
システム時間	このパラメータは、同期モードがシステム設定との同期または直近のサーバー時間

パラメータ	説明と設定
	と同期：に設定されている場合にのみ使用できます。 正しい時間に設定します。
コンピュータの時間と同期	このパラメータは、同期モードがシステム設定との同期または直近のサーバー時間と同期：に設定されている場合にのみ使用できます。 システム時間は、ローカル PC の時間に同期します。
NTP サーバーアドレス	このパラメータは、同期モードが NTP サーバーと同期に設定されている場合にのみ表示されます。 NTP サーバーの IP アドレスを入力します。
更新間隔 (秒)	このパラメータは、同期モードが NTP サーバーと同期に設定されている場合にのみ表示されます。 NTP サーバーと時間を同期する間隔を示します。 値の範囲は 30 秒から 3600 秒です。

(2) 設定 > 共通 > 時間を選択し、DST タブをクリックして DST タブページに移動します。

図 7-13 DST の設定インターフェース

表 7-7 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
夏時間	オプションは次のとおりです。 ● オン ● オフ 以下のパラメータは、DST がオンに設定されている場合にのみ、設定可能です。
開始時間	実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。
終了時間	実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。
DST バイアス	オプションは次のとおりです。 ● 30 分 ● 60 分 ● 90 分 ● 120 分 実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。

(3) 保存 をクリックして、設定を保存します。

4. サーバー

本機がスタンドアロンモードを使用している場合、サーバー情報を設定する必要はありません。

インテリジェントサーバー接続時、本機は、進入/退出記録とキャプチャした画像を含むデータを、インテリジェントサーバーにリアルタイムでアップロードできます。次の手順に従ってインテリジェントサーバーを設定してください。

- (1) 設定 > 共通 > サーバーを選択し、インテリジェントサーバータブをクリックします。
- (2) インテリジェントサーバー1 で、次の表を参考にして設定を完了します。

インテリジェントサーバー

インテリジェントサーバー1

サーバーIP

サーバーポート

プラットフォーム通信タイプ

サブ通信タイプ

カメラ番号

デバイス番号

有効にします インテリジェントサーバー2

注意：FTPで画像を転送するには、FTP設定ページでサーバー情報を追加する必要があります。

保存

表 7-8 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
サーバーIP	サーバーのIPアドレス
サーバーポート	サーバーのポート番号。デフォルト：5196
プラットフォーム通信タイプ	<p>実際の接続手順に基づいた通信プロトコルを選択します：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● UV-V2：本機がガードステーションに接続されている場合、このオプションを選択します。 ● FTP：画像をFTPで転送する場合、2. FTPの設定ページでサーバー情報を追加する必要があります。 ● LAPI V2：本機とプラットフォーム間の通信にネットワークアドレス変換（NAT）が必要な場合、このオプションを選択します。
デバイス番号	<p>デバイス番号は、本機がプラットフォームサーバーと接続するのに使用する識別子です。ネットワークでは、デバイス番号を一意に定める必要があります。</p> <p>注意：プラットフォーム通信タイプがUV-V2に設定されている場合にのみ、設定する必要があります。デフォルト設定を使用します。</p>
キープアライブ間隔（秒）	<p>本機とプラットフォーム間の通信がない時間の長さがキープアライブ間隔を超える場合、新たに永続的なLAPI接続が必要となります。</p> <p>注意：プラットフォーム通信タイプがLAPI V2に設定されている場合にのみ、設定する必要があります。</p>
記録のアップロード応答	<ul style="list-style-type: none"> ● オン：本機はプラットフォームからの応答に従い、記録がプラットフォームに正常にアップロードされたかどうかを確認します。 ● オフ：本機は、上記の検証を実行せずに記録をプラットフォームにアップロードします。 <p>注意：プラットフォーム通信タイプがLAPI V2に設定されている場合にのみ、設定する必要があります。</p>



ヒント！

本機がガードステーションに接続されている時は、上記の表を参照にして有効にします インテリジェントサーバー2のチェックボックスをオンにして設定を完了します。

5. ユーザー

本機は、1人の管理者と最大32人の一般ユーザーをサポートしています。管理者はデフォルトで **admin**（管理者名は変更できません）であり、デバイスとユーザーに対するすべての管理および操作権限を持っています。一般ユーザーは、デバイスのライブ表示権限のみを持っています。

5.1 一般ユーザーの追加

- (1) 本機インターフェースに管理者としてログインします。
- (2) 設定 > 共通 > ユーザーを選択し、ユーザーインターフェースに移動します。
- (3) 次の図に示す手順に従って、一般ユーザーを追加します。

図 7-14 一般ユーザーの追加のインターフェース

The screenshot shows the 'ユーザー' (User) management interface. At the top, there are buttons for '追加' (Add), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). Below these is a table with columns '番号' (No.), 'ユーザー名' (Username), and 'ユーザータイプ' (User Type). The table contains one entry: '1', 'admin', '管理者' (Administrator). A modal dialog box titled '追加' (Add) is open, containing the following fields and elements:

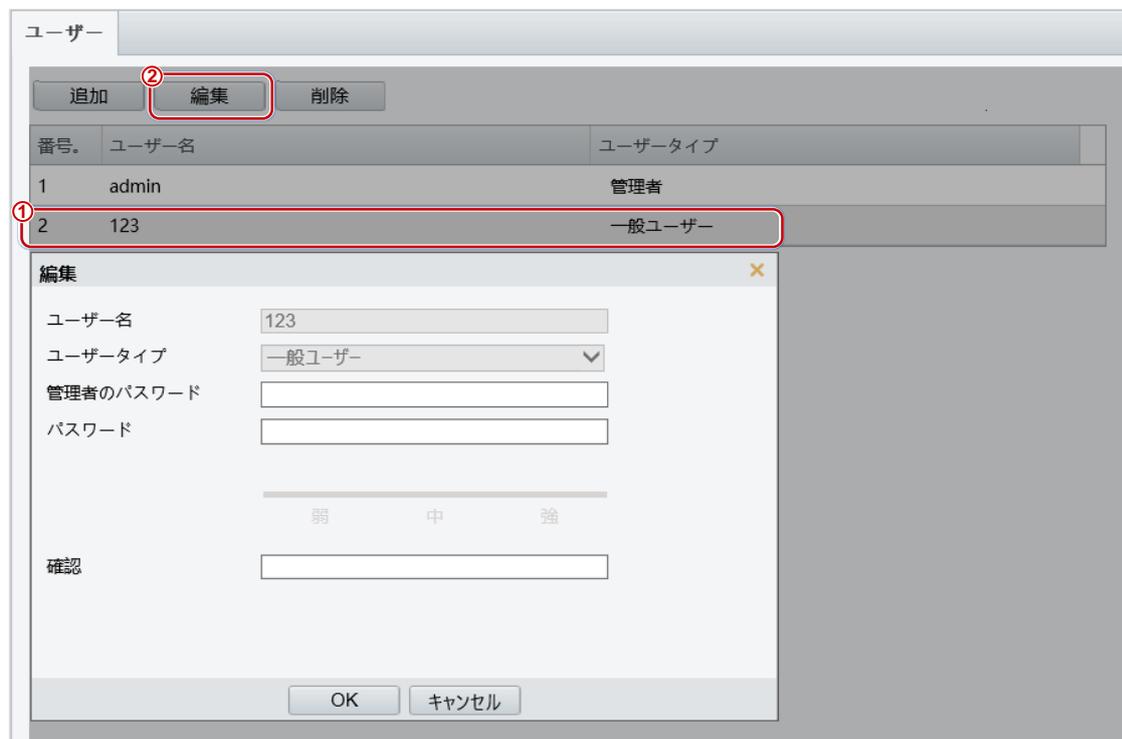
- 'ユーザー名' (Username): Text input field containing '123'.
- 'ユーザータイプ' (User Type): Dropdown menu with '一般ユーザー' (General User) selected.
- 'パスワード' (Password): Password input field with masked characters.
- Password strength indicator: A horizontal bar with '弱' (Weak), '中' (Medium), and '強' (Strong) labels.
- '確認' (Confirm): Password input field with masked characters.
- Buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

5.2 一般ユーザーの編集

以下は、一般ユーザーを例にしています。管理者の編集手順は、一般ユーザーの編集手順と同じです。

- (1) 本機インターフェースに管理者としてログインします。
- (2) 設定 > 共通 > ユーザーを選択し、ユーザーインターフェースに移動します。
- (3) 編集する一般ユーザーを選択し、下図の手順でユーザー情報を編集します。

図 7-15 一般ユーザー情報の編集のインターフェース



(4) 情報を編集したら、OK をクリックしてユーザー情報を保存します。

5.3 一般ユーザーの削除

- (1) 本機インターフェースに 管理者 としてログインします。
- (2) 設定 > 共通 > ユーザーを選択し、ユーザーインターフェースに移動します。
- (3) 削除する一般ユーザーを選択し、次の図に示す手順に従ってユーザーを削除します。

図 7-16 一般ユーザーの削除インターフェース



ヒント！

- パスワードを変更できるのは管理者だけです。ユーザー名またはパスワードが変更され、ユーザーがシステムにログインした場合、ユーザーは強制的にログアウトされ、次回ログインするために新しいユーザー名またはパスワードを入力する必要があります。
- 既存のユーザーを削除できるのは管理者だけです。ユーザーが削除された後、ユーザーはログインできません。ユーザーが削除前にシステムにログインしていた場合、ユーザーは強制的にログアウトされます。
- 管理者 のウェブインターフェースのログインパスワードは、アクティベーションパスワードと同じです。管理者のログインパスワードが変更されている場合、新しいパスワードを使用して [5.5 アクティベーションの設定](#) インターフェースにログインします。

6.ポートとデバイス

6.1 シリアルポート

本機がシリアルポートを介してゲート機の制御を行う場合、または IC カードリーダーに接続する場合、シリアルポート情報を設定する必要があります。シリアルポートを設定するには、以下の手順を実行します。



ヒント！

シリアルポートの設定のインターフェースは、デバイスタイプによって異なります。

(1) 設定 > 共通 > ポートとデバイスを選択し、シリアルポートタブをクリックします。

図 7-17 シリアルポートの設定インターフェース

The screenshot displays two configuration panels side-by-side. The left panel is for 'RS485_1' and the right panel is for 'RS232_1'. Both panels have a 'ポートモード' (Port Mode) dropdown menu. The RS485_1 panel includes checkboxes for 'QRコードリーダーを有効にします' and '安全モジュールを有効にします', and an 'RS485アドレス' dropdown menu. The RS232_1 panel includes a checkbox for 'トランスチャネルを有効にします'. Both panels share common settings for 'ボーレート', 'データビット', 'ストップビット', 'パリティ', and 'フロー制御'. A blue '保存' (Save) button is located at the bottom left of the interface.

表 7-9 パラメータの説明と設定

パラメータ	RS485_1	RS232_1
ポートモード	安全/温度モジュール：本機が RS485 シリアルポートを介して体表温度測定モジュールに接続する場合、このオプションを選択します。	IC カードモード
QRコードリーダー/セキュリティーモジュールの有効	サポートされていません。	/
RS485アドレス	サポートされていません。	/

パラメータ	RS485_1	RS232_1
フォーマット	/	カード読み取りとストレージのモード。 たとえば、カード番号4204783027は、以下に示す通り、異なる形式のバイナリとして保存されます。 昇順： 1111 1010 1001 1111 1110 0101 1011 0011 降順： 1011 0011 1110 0101 1001 1111 1111 1010
ボーレート	デフォルト値を使用。	
データビット/ ストップビット/ パリティ/ フローコントロール	次のようにデフォルト値を保持します。 データビット：8 ストップビット：1 パリティ：無し フローコントロール：無し ヒント！ポートモード が ICカードモード のときはパラメータを設定できません。	
トランスチャネルを有効にする	内部デバッグ用。	

- (2) 実際のシーン構成に応じてシリアルポート情報を設定します。
- (3) 保存をクリックして、シリアルポートの設定を保存します。

6.2 ウィーガンドインターフェース

本機を IC カードリーダーに接続する場合、ウィーガンドインターフェース情報を設定する必要があります。以下の操作を実行して、設定を完了します。

- (1) 設定 > 共通 > ポートとデバイスを選択し、ウィーガンドインターフェースタブをクリックします。

図 7-18 ウィーガンドインターフェースのウィンドウ

- (2) 次の表を参照しながら、ウィーガンドインターフェース情報を設定します。

表 7-10 パラメータの説明と設定

パラメータ	設定
プロトコル	実際のシーンに応じて、ウィーガンド26またはウィーガンド34に設定します。
フォーマット	デフォルト値は 昇順 です。実際のシーンに応じてパラメータを設定します。

パラメータ	設定
	パラメーターの説明は、 表 7-9 フォーマットと同様です。

(3) 保存 をクリックして、ウィーガンドインターフェースの設定を保存します。

6.3 IO 設定

本機は、ゲート機、ドアロック、アクセスコントロールボタンに接続し、ドア開錠信号をそれらに送信します。以下の操作を実行して、設定を完了します。

(1) 設定 > 共通 > ポートとデバイスを選択し、IO 設定タブをクリックします。

図 7-19 IO の設定インターフェース

ID	有効にします	タイプ	レベル値	パルス幅
F1	<input checked="" type="checkbox"/>	ゲート	低レベル	500
F2	<input checked="" type="checkbox"/>	ゲート	低レベル	500

アクセスコントロール

ロック解除間隔 秒

ドア開放タイムアウト 秒

閉めると自動ドアロック オン オフ

閉める前にドアマグネッ... オン オフ

保存

(2) 次の表を参考に、IO ポート情報を設定します。

表 7-11 パラメータの説明と設定

パラメータ	パラメータの説明と設定
F1/F2	<p>F1/F2 は、本機の IO ポートを示します。前方のチェックボックスを選択すると、IO ポートの設定が有効になります。</p> <p>IO ポートは、次のタイプの外部デバイスをサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドアロック：本機は、IO ポートを介してドアロックにドア開錠信号を出力します。ここでのパルス幅は、1つのドアが開いている時間を指します。ドアが開いている時間がこの時間を超えると、ドアマグネットがアラームを生成します。 値の範囲：[1~300]秒、デフォルト値：5秒 ● ドアボタン：本機は、IO ポートを介してアクセスコントロールボタンからドア開錠信号を受信し、ドア開錠信号をドアロックに送信できます。ここでのパルス幅の値は、ドアを開くボタンを押している時間がこの値に達した場合にのみ、有効なドア開錠信号が生成されることを示しています。 値の範囲：[0~20000]ミリ秒、デフォルト値：100 ミリ秒 ● アラーム出力：本機は、IO ポートを介してアラームを出力します。 値の範囲：[0~20000]ミリ秒、デフォルト値：100 ミリ秒 <p>レベル値は、低レベルまたは高レベルを設定できます。I0+とI0-が開いている場合「低レベル」、閉じている場合「高レベル」を選択します。この値は、接続する外部デバイスでサポートされている入出力信号レベルと一致する必要があります。</p>
ロック解除間隔	<p>2つのロック解除操作の間隔を示します。ドアがロック解除された後、新しいロック解除信号を受信しても、ロック解除間隔内でドアが再びロック解除されることはありません。さらに、ドアロックの ドアが開いている時間 は再調整されません。0 に設定されている場合、ロック解除信号が受信されるたびに、ドアがロック解除され、ドアロックのド</p>

パラメータ	パラメータの説明と設定
	<p>アが開いている時間 が再調整されます。</p> <p>値の範囲：[0~300]秒、デフォルト値：0秒</p>
<p>ドアの開錠 タイムアウト</p>	<p>施錠時の自動ドアロック が有効になっている場合、ドアの施錠時間がここで指定した値を超え、ドアマグネットがドアが施錠位置にあることを検知すると、本機が自動的にドアを施錠します。</p> <p>値の範囲：[1~300]秒、デフォルト値：10秒</p> <p> ヒント！</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常に小さな値の設定は推奨いたしません。非常に小さな値に設定すると、通常のドアの開閉に影響します。 ドアマグネットアラームの生成は、ドアの開錠タイムアウトに関係しています。
<p>施錠時の 自動ドアロック</p>	<p>ドア施錠時の自動ドアロックを有効にするかどうかを選択します。</p> <p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> オン：ドアマグネットはドアが施錠されていることを検知し、ドアの施錠時間がドアの開錠タイムアウト の値を超えると、ドアは自動的に施錠されます。 オフ：施錠時の自動ドアロックは無効になっており、ドアの施錠時間は ドアが開いている時間 です。
<p>ドアマグネットの状態 を確認してから施錠</p>	<p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> オン：ドアマグネットの状態は、施錠前にチェックされます。 オフ：ドアマグネットの状態は、施錠前にチェックされません。

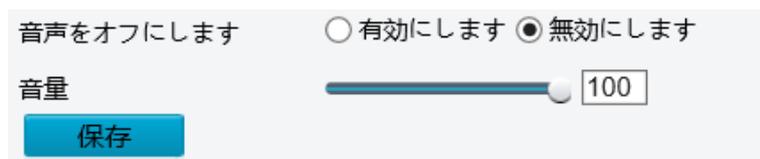
(3) **保存** をクリックして、IO ポートの設定を保存します。

6.4 音量コントロール

本機の音量コントロールタブページでオーディオ情報を設定します。

(1) **設定 > 共通 > ポートとデバイス** を選択し、**音量コントロール** タブをクリックします。

図 7-20 オーディオの設定インターフェース



(2) 音声をミュートするかどうかを設定します。いいえの場合、再生音量を設定します。

(3) **保存** をクリックして、オーディオ設定を保存します。

6.5 照明

本機は、省エネ設定に対応しています。

(1) **設定 > 共通 > ポートとデバイス** を選択し、**照明** タブをクリックします。

(2) 実際の条件に応じて省エネパラメータを設定します。

図 7-21 エネルギー資源の保護の設定インターフェース

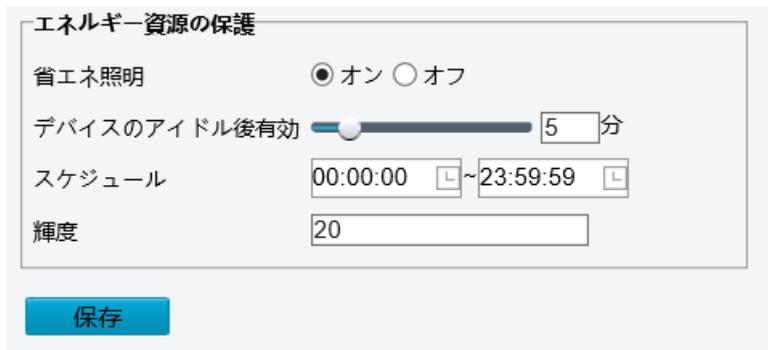


表 7-12 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明	設定
省エネ照明	<ul style="list-style-type: none"> オン：本機が事前設定された スケジュール 内で顔を検知すると、すべてのライト（液晶ライト、ディスプレイ画面、白色補助ランプを含む）がオンになります（白色補助ランプは現在の環境光の輝度が、本機内部の最小輝度のしきい値に達していない場合のみオン）。事前設定された 本機のアイドル後に有効 内で顔が検知されない場合、ライトは徐々に消灯します（白色補助ランプは現在の環境光の輝度が、本機内部の最大機輝度のしきい値を超えている場合のみ）。本機が顔を検知したかどうかにかかわらず、白色補助ランプを除くライトは スケジュール 外では点灯しています。 オフ：本機が顔を検知したかどうかにかかわらず、白色補助ランプを除くライトが点灯します。ライトの省エネは無効になっています。 省エネ照明はデフォルトで無効になっています。	実際のシーンに応じてパラメータを設定します。
デバイスのアイドル後に有効	本機が顔を検知しない時間がこの値を超えると、本機のライトは徐々に消灯します。 値の範囲：[1~30]分、デフォルト値：5分	実際のシーンに応じてパラメータを設定します。
スケジュール	省エネ照明 をオンに設定すると、本機はスケジュール内で省エネ照明を適用します。スケジュール外では省エネ照明は行いません。 値の範囲は00:00:00~23:59:59で、単位は秒単位で正確に設定できます。 ヒント！ 省エネ照明 がオンに設定されている場合、スケジュールのデフォルト値は[00:00:00~23:59:59]です。 省エネ照明 がオフに設定されている場合、スケジュールは使用できません。	実際のシーンに応じてパラメータを設定します。
輝度	このパラメータは、ディスプレイ画面がオフ（省エネ中）の時の白色補助ランプの輝度を調整するために使用されます。パラメータの値が大きいほど、明るい補助ランプが点灯し、値が小さいほど暗い補助ランプが点灯します。 値の範囲：[0~200]、デフォルト値：20 0に設定すると、白色補助ランプが消灯します。 輝度は、ディスプレイ画面が再びオフになった後にのみ有効になります。	実際のシーンに応じてパラメータを設定します。

(3) **保存** をクリックして、省エネ設定を保存します。

7. USB

サポートされていません。

8. デバイス情報

デバイス情報インターフェースでは、デバイスの場所を設定できます。

- (1) 本機インターフェースに 管理者 としてログインします。
- (2) 設定 > 共通 > デバイス情報を選択し、デバイス情報インターフェースに移動します。

図 7-22 デバイス情報設定のインターフェース

スイッチモード

デバイスの位置

管理センター IP

コミュニティ

棟 棟

設定可能なユニット

ユニット ユニット

表 7-13 パラメータの説明と設定

パラメータ	パラメータの説明と設定
スイッチモード	<p>本機の作業モードを設定します。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">ビデオインターコムモード：パスワードによるドアの開錠、顔スキャンによるドアの開錠などの機能を備えた標準のアクセスコントロールデバイスです。共通アクセスコントロールモード：アクセスコントロールターミナルは、通話およびパスワードによるドアの開錠機能をサポートしない一般的なアクセスコントロールデバイスです。 <p>実際のアプリケーションシーンに基づいて、パラメータを設定します。</p>
デバイスの場所	サポートされていません。



ヒント！

デバイスタイプを変更すると、デバイスが再起動し、認識モードがデフォルトの設定に戻ります。

9. パーソナライゼーション

9.1 広告モード

本機は広告に対応しています（写真のみ）。設定方法は次のとおりです。

- (1) 設定 > 共通 > パーソナライゼーションを選択し、広告モードタブをクリックします。
- (2) 次の表を参考に、広告モードを設定します。

図 7-23 広告モード設定のインターフェース

広告モード オン オフ
 広告画像の再生間隔(s)
 待機時間(s)
 画像ファイルを読み込みします

注意： 1.インポートするファイルはzip圧縮ファイルである必要があります。圧縮ファイルには、1.jpg 2.jpg 3.jpgの名前が付けられた最大3つのJPG画像が含まれています。
 2.画像形式：jpg形式でなければなりません。推奨サイズは、10インチ800 * 1280、7インチ600 * 1024、4インチ480 * 800です。

表 7-14 パラメータの設定

パラメータ	説明と設定
広告モード	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ 実際の条件に基づいて、広告モードを有効にするかどうかを選択します。
広告画像の内部再生	広告画像を再生する間隔を設定します。 値は1秒から3600秒の範囲の整数です。デフォルト値は10秒です。
スタンバイ時間	本機が顔を検知していない継続時間がここで設定された時間に達すると、本機は広告モードに入ります。 値は10秒から3600秒の範囲の整数です。デフォルト値は10秒です。 本機は、顔のスキャンに失敗、またはユーザーが画面をタップすると、広告モードを終了します。
画像ファイルのインポート	ユーザーは広告画像を設定できます。広告画像の条件は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • インポートされるファイルは、ファイル名が 1.jpg、2.jpg、3.jpg で、3 ファイル以下の jpg 画像を含んだ、.zip ファイルである必要があります。 • JPG 画像のみに対応しています。推奨サイズ：10 インチ 800×1280、7 インチ 600×1024、4 インチ 480×800。

(3) **保存** をクリックして、広告モードの設定を保存します。

9.2 カスタムロゴとプロンプト

本機は、カスタムロゴとプロンプトをサポートしています。設定方法は次のとおりです。

- (1) **設定 > 共通 > パーソナライゼーション**を選択し、**カスタムロゴとプロンプト**タブをクリックします。
- (2) 次の表を参考に、カスタムロゴとプロンプトを設定します。

図 7-24 カスタムロゴとプロンプトインターフェース

タイトル ディスプレイ 隠す
 デフォルト カスタム
 ロゴ画像を読み込みします

注意： 画像形式：画像の名前は16文字を超えてはならず、jpg形式でなければならず、推奨サイズは220 * 180です。

表 7-15 パラメータの設定

パラメータ	説明と設定
職名	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示：タイトルバーが表示されます。タイトルの内容は次のように設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ デフォルト：タイトルバーに「ようこそ」と表示されます。 ➤ カスタム：タイトルの内容を設定できます。0～14文字の文字列を入力できます。 ● 非表示：タイトルバーは表示されません。
ロゴ画像をインポート	<p>ユーザーはロゴ画像を設定できます。ロゴ画像の条件は次のとおりです。 ファイル名が16文字以下のJPGファイルのみに対応しています。推奨サイズ：220×180。</p>

(3) **保存** をクリックして、カスタムロゴとプロンプトの設定を保存します。

9.3 カスタムボタン

本機はカスタムボタンをサポートしています。設定方法は次のとおりです。

- (1) **設定 > 共通 > パーソナライゼーション** を選択し、**カスタムボタン** タブをクリックします。
- (2) アプリケーションシーンに基づいて、ボタンを設定します。
 - 表示：対応するボタンが GUI に表示されます。
 - 非表示：対応するボタンは GUI に表示されません。
- (3) **保存** をクリックして、カスタムボタンの設定を保存します。

7.2.2 ネットワーク

1. ネットワーク

イーサネットインターフェースについては [3. イーサネット](#) を参照してください。

2. DNS

サポートされていません。

3. ポート

サポートされていません。

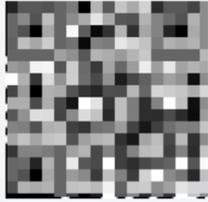
4. DDNS

サポートされていません。

5. P2P

デバイスをクラウドサーバーに追加して、リモート管理を実現します。

www.star4live.com にログインし、QR コードをスキャンしてデバイスを追加します。詳しい操作については、ウェブサイトのオンライン資料を参照してください。

P2P	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
クイック追加	<input checked="" type="radio"/> オン <input type="radio"/> オフ
アドレス	www.star4live.com
登録コード	5008P
デバイスのステータス	オフライン
スキャン	

[保存](#)

6. Eメール

システムは、設定されたパラメータに従って、キャプチャした画像（スナップショット）をユーザー指定のEメールアドレスに送信できます。

- (1) 設定 > ネットワーク > Eメールを選択します。
- (2) 下の表を参考にしながら、パラメータを設定します。保存 をクリックして、設定を保存します。

パラメータ	説明
名前	必要に応じて名前を設定します。
住所	送信者のEメールアドレス。
SMTPサーバー	SMTPを使用してEメールを送信するサーバーのアドレス。例：smtp.163.com。 実際の条件に基づいて、設定します。必要な情報は、ウェブ上の送信者のメールボックスにアクセスするか、Eメールサービスプロバイダーにお問い合わせください。
SMTPポート	TLS/SSLが有効かによって、対応するトランスポートポートを設定します。ポート番号は、ウェブ上の送信者のメールボックスにアクセスするか、Eメールサービスプロバイダーにお問い合わせください。
TLS/SSL	有効な場合、TLSまたはSSLを用いて暗号化されたチャンネルを介してEメールが送信されます。
スナップショット間隔（秒）	サポートされていません。
画像の添付	有効な場合、Eメールにスナップショットが添付されます。
ユーザー名	送信者のEメールアドレス。
パスワード	ログインパスワードは、サードパーティのEメールサービスプロバイダーが提供するものです。ログインパスワードを取得するには、送信者のメールボックスにアクセスし、サービス設定ページでSMTPを有効にしてパスワードを要求します。
名前	受信者が容易に特定できる名前を設定します。
住所	受信者のEメールアドレス。「テスト」をクリックすると直ちに受信者にテストメールを送信します。

7. SNMP

サポートされていません。

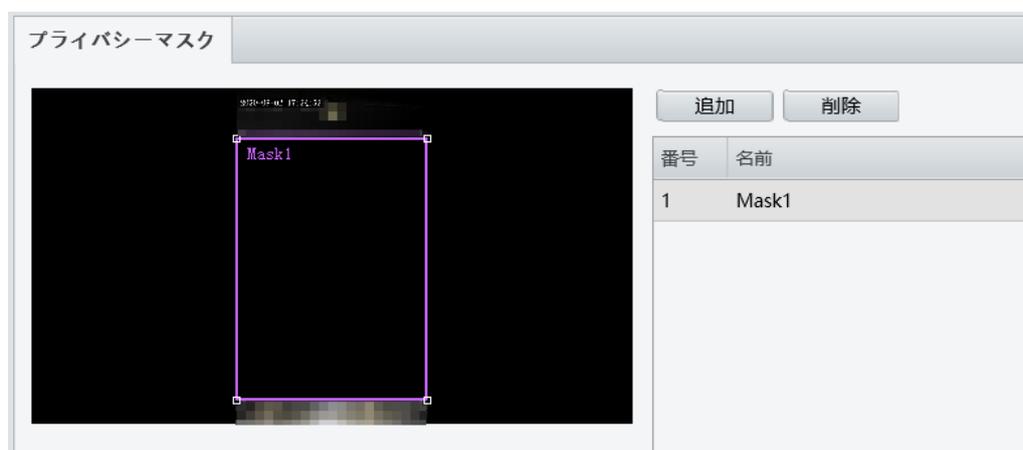
8. 802.1x

サポートされていません。

7.2.3 プライバシーマスク

本機はプライバシーマスクをサポートしており、ユーザーがプライバシー保護のために画像上の特定エリア（機密エリアやプライベートエリアなど）を隠すことができます。

- マスクエリアを追加
 - (1) **設定 > 画像 > プライバシーマスク**を選択し、**追加**をクリックします。左側のプレビュー画像に黒いボックスが表示されます。
 - (2) 黒いボックスをドラッグするかりサイズしてマスクエリアを調整できます：
 - プレビュー画像で、マスクエリアを画像上の目標の場所にドラッグします。
 - マスクエリアをリサイズするには、マウスカーソルをボックスの境界線に置き、カーソルの形がに変わったら、境界線をドラッグしてマスクエリアをリサイズするか、カーソルをボックスの角に置き、カーソルの形がに変わったら、ドラッグしてボックスをリサイズします。



- マスクエリアを削除

左側のプレビュー画像でマスクエリアを選択するか、右側のリストから行を選択し、**削除**をクリックします。対応するマスクエリア削除します。

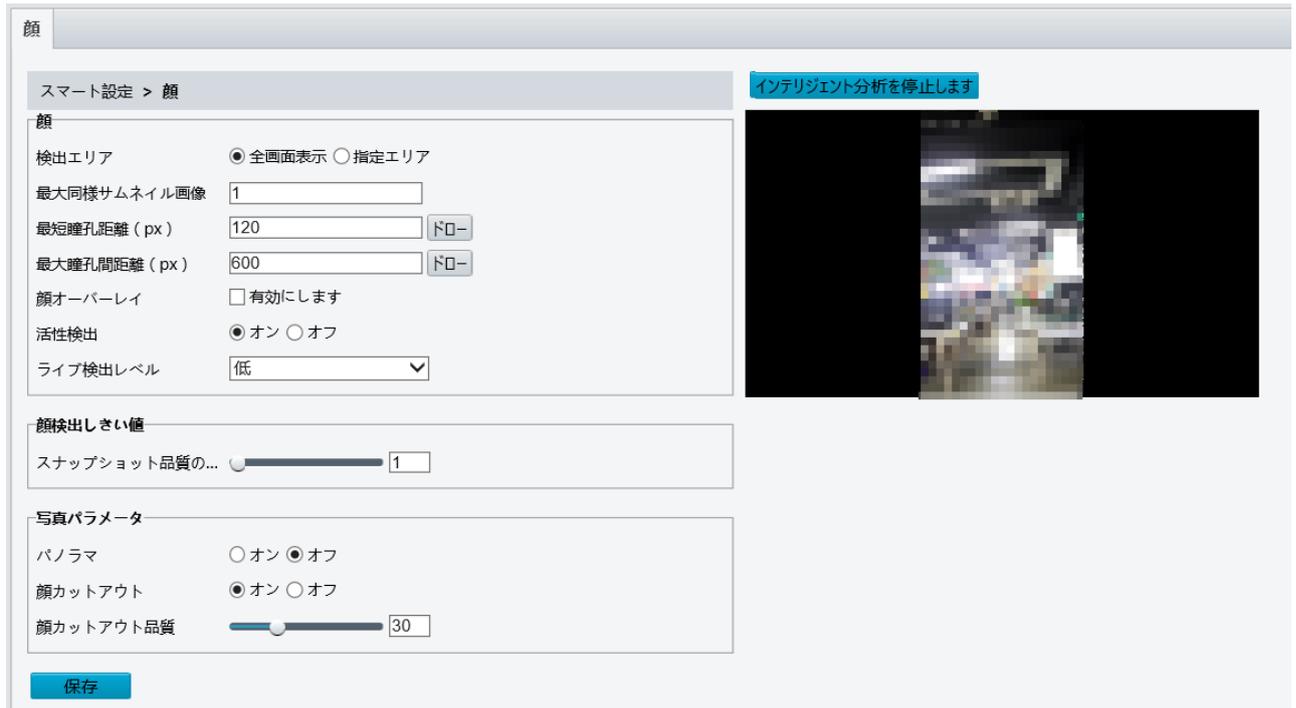
7.2.4 インテリジェント

1. 顔

顔のスナップショットの設定には、顔検知、顔検知のしきい値、オブジェクトサイズ（ピクセル）によるフィルター、その他のパラメータの設定が含まれます。適切なパラメータ設定は、顔の検知と照合に役立ちます。

- (1) **設定 > インテリジェント > 顔**を選択し、**顔** タブをクリックします。

図 7-25 顔のスナップショットの設定インターフェース



(2) 下の表を参考にしながら、パラメータを設定します。

システムのデフォルトでは、インテリジェント分析が有効になっています。インターフェースのパラメータを変更するには、インテリジェント分析を停止しますをクリックして、インテリジェント分析を停止してから、パラメータを設定します。

表 7-16 パラメータの説明と設定

ペイン	パラメータ	説明と設定
顔	検知エリア	<ul style="list-style-type: none"> ● 全画面表示をクリックすると、フルスクリーンで顔写真を検知します。 ● 指定エリアをクリックすると、指定された領域で顔写真を検知します。
	最大同様サムネイル画像	サポートされていません。
	最短/最大瞳孔間距離 (px) 瞳孔間距離 (px)	インターフェースの右側にあるライブビューでマウスを使用して、瞳孔間距離を描画できます。瞳孔間距離のピクセルの数量がプリセットされた値にある場合、写真が収集されます。値の範囲は20ピクセルから650ピクセルです。
	フェイスオーバーレイ	サポートされていません。
	活性検知	<p>オンをクリックして、ライブ検知機能を有効にします。</p> <p>活性検知は、動画や写真の成りすましを効率的に防止できます。デフォルトでは有効になっています。</p> <p>注意：顔の照明環境等で「人物認証できません」と表示される場合があります。その際には、照明環境を変える、ライブ検知レベルを低に設定してください。</p>
ライブ検知レベル	次の3つのライブ検知レベルがあります。高、中および低。ライブ検知レベルが高いほど、非実在の人物を検知できる精度が高いことを示します。デフォルト値は低です。	

ペイン	パラメータ	説明と設定
顔検知のしきい値	スナップショット品質のしきい値	<p>顔のスナップショットの1:N照合のしきい値。</p> <p>顔照合の類似度が事前設定された類似度のしきい値に達すると、照合に成功します。</p> <p>値の範囲：[1~100]、デフォルト値：1</p> <p>注意：マスク検知を有効にした後、スナップショット品質のしきい値を1に設定する必要があります。</p>
写真パラメータ		<ul style="list-style-type: none"> パノラマがオンに設定されている場合、本機はスナップショットをパノラマ写真で保存します。デフォルトではオンになっています。 顔カットアウトがオンに設定されている場合、スナップショット写真から顔の写真をカットアウトします。デフォルトではオンになっています。 スナップショット品質：スナップショット写真の品質を決定します。値が大きいほどスナップショット写真は鮮明になり、値が小さいほど不鮮明になります。 顔カットアウト品質：このパラメータは、顔カットアウトがオンに設定されている場合にのみ表示されます。 <p>顔カットアウトの品質はこの値が決定します。値が大きいほど顔カットアウトは鮮明になり、値が小さいほど不鮮明になります。</p>

(3) **保存** をクリックして、設定を保存します。

(4) **インテリジェント分析を開始します** をクリックして、インテリジェント分析を有効にします。

2. チェックテンプレート

チェックテンプレートは、時間帯による認識モードをサポートし、1日あたり最大8つまで時間帯を設定できます（時間帯は重複できません）。認識モードは、日ごとに個別に設定することも、すべての日にコピーすることもできます。

図 7-26 チェックテンプレート

- チェックテンプレートの追加



ヒント！

チェックテンプレートは最大 16 個まで設定できます。

- (1) **設定** > **インテリジェント** > **チェックテンプレート** を選択し、**追加** をクリックします。
- (2) インターフェースの右ペインでパラメータを設定します。
 - **テンプレート名**：チェックテンプレートの名前を入力します。
 - **時間帯と認識モード**

実際の条件に基づいて、1 週間の時間帯ごとに認識モードを設定します。利用可能な認識モードは 4 つあります。

 - ◆ **カード**：取得した IC カード番号とライブラリ内のカード番号を 1 : N 照合します。
 - ◆ **顔**：ライブラリ内の顔のスナップ写真と顔写真を 1 : N 照合します。
 - ◆ **カード+顔**：取得した IC カード番号とライブラリのカード番号を 1 : N 照合してから、カード番号に対応する顔写真とスナップショット写真を 1 : 1 照合します。
 - ◆ **パスワード**：ユーザーはドアを開けるために、本機で正しい「ユニット番号#部屋番号#部屋パスワード」を入力できます。

認識モードは、人が本機を通過する方法を設定するために使用されます。合計で 4 つの認識モードを使用できます。ユーザーは、実際の条件に基づいて、少なくとも 1 つ（最大 3 つ）の認識モードを選択できます。複数の認識モードが採用されている場合、認識モードは「または」関係にあります。つまり、いずれかのモードで認識に成功するとドアが開きます。
 - **時間帯と認識モードのコピー**
 - ◆ 月曜日の時間帯と認識モードを設定した後、火曜日から日曜日でも同じ時間帯と認識モードが必要な場合、**全てを選択します**の前にあるチェックボックスをオンにして、その設定をすべての日にコピーします。
 - ◆ 同じ時間範囲と認識モードが数日間だけ必要な場合、特定の日を選択して**コピー** をクリックします。
- (3) **保存** をクリックして、追加したチェックテンプレートを保存します。
 - **チェックテンプレートの変更**

既存のチェックテンプレートを変更するには、テンプレートを選択し、必要なパラメータを変更し、**保存** をクリックしてチェックテンプレートの変更を保存します。
 - **チェックテンプレートの削除**
- (1) **設定** > **インテリジェント** > **チェックテンプレート** を選択し、削除するチェックテンプレートを選択します。
- (2) **削除** をクリックします。
- (3) 確認ボックスが表示されたら、**OK** をクリックして削除します。

3. タイムテンプレート

タイムテンプレートを設定して、人が出入りする時間を制限できます。タイムテンプレート（有効時間帯）外で認識された場合、「指定しない時間」が通知されます。タイムテンプレートは週ごとに設定でき、1 日につき最大 8 つまで有効時間帯を設定できます。例外日は個別に設定できますが、日ごとにのみ設定できます。

図 7-27 タイムテンプレート

● タイムテンプレートの追加



ヒント！

最大 16 個までタイムテンプレートを設定できます。

- (1) 設定 > インテリジェント > タイムテンプレートを選択し、追加をクリックします。
- (2) インターフェースの右ペインでパラメータを設定します。
 - テンプレート名：タイムテンプレートの名前を入力します。条件：1～20 文字（大文字と小文字の英字、数字、ハイフン、アンダーバーを使用できます）。
 - プランの有効化：チェックボックスを選択し、タイムプランを有効にします。
 - 有効時間帯を設定します。

- ◆ 武装 非武装 をクリックし、タイムテーブル上でマウスをドラッグして、有効時間帯を設定します。1 時間単位で設定できます。

図 7-28 タイムテーブル上でマウスをドラッグして、有効時間帯を設定

- ◆ また、**編集** をクリックして**編集インターフェース**に移動し、1週間の有効時間帯を設定できます。

1日につき最大8つまで有効時間帯を設定できます。時間帯は重複できません。認識成功のプロンプトは、事前設定された有効時間帯で認識が成功した場合にのみ表示されます。有効時間帯の範囲外で認識に成功した場合、「指定しない時間」というプロンプトが表示されます。

1日の有効時間帯を設定した後、その有効時間帯を他の日にコピーできます。

図 7-29 編集のインターフェース

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
番号。	開始時間		終了時間			
1	00:00:00		23:59:59			
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						

コピー先 すべてを選択します

月曜日 火曜日 水曜日 木曜日 金曜日 土曜日 日曜日

コピー

OK キャンセル

- **例外日を有効にする**：チェックボックスを選択し、例外日を有効にします。
- **例外日を設定します**。

例外日は、1日の時間帯ではなく、日ごとに設定する必要があります。

例外日は追加、削除、変更できます。例外日に認識に成功した場合、「指定しない時間」というプロンプトが表示されます。

図 7-30 例外日の有効

有効にします例外日

追加

番号。	日付	時間間隔	操作
1	2020-09-03	00:00:00--23:59:59	✎ 🗑

- (3) **保存** をクリックして、追加したタイムテンプレートを保存します。

- **タイムテンプレートの変更**

既存のタイムテンプレートを変更するには、それを選択し、必要なパラメータを変更し、**保存** をクリックしてタイムテンプレートの変更を保存します。

- タイムテンプレートの削除
- (1) **設定 > インテリジェント > タイムテンプレート**を選択し、削除するタイムテンプレートを選択します。
 - (2) **削除**をクリックします。
 - (3) 確認ボックスが表示されたら、**OK**をクリックして削除します。



ヒント！

人がタイムテンプレートにバインドされている場合、タイムテンプレートを削除する前に、その人をアンバインドする必要があります。そうしないと、削除する際に、最初にアンバインドしない場合、削除に失敗することを示すプロンプトが表示されます。

4. 顔ライブラリ

設定 > インテリジェント > 顔ライブラリを選択します。顔ライブラリのインターフェースで、顔ライブラリを追加したり、顔ライブラリにユーザーを追加したりできます。

図 7-31 顔ライブラリインターフェース



1. 顔ライブラリの管理

- 顔ライブラリの追加



ヒント！

顔ライブラリは最大 16 個まで設定できます。

- (1) 従業員ライブラリリストの上にある**追加**をクリックします。
- (2) 表示された**顔追加ライブラリ**インターフェースでは、次の表を参考に、顔ライブラリ情報を設定します。

図 7-32 顔追加ライブラリインターフェース

✕

顔ライブラリを追加します

顔ライブラリタイプ

顔ライブラリ名

チェックテンプレート

1:N一致しきい値

成功リンケージ設定を確認します

オープンドア 音声プロンプト HMIプロンプト ウィーガンド出力

失敗リンケージ設定を確認します

音声プロンプト HMIプロンプト

表 7-17 パラメータの設定

パラメータ	説明と設定
顔ライブラリのタイプ	<p>実際の条件に基づいて、パラメータを以下のオプションのいずれかに設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 従業員ライブラリ • 訪問者ライブラリ
顔ライブラリの名前	ライブラリの名前を入力します。
チェックテンプレート	ドロップダウンリストからチェックテンプレートを選択します。チェックテンプレートは、 2. チェックテンプレート インターフェースで追加できます。
1:N照合のしきい値	1:N照合は顔認識で使われます。照合の類似度がここで設定したしきい値に達すると、認証に成功します。
成功リンケージ構成の確認	<p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ドアを開錠：認証に成功すると、ドア開錠信号が送信されて、ドア開錠がトリガーされます。 • ライトプロンプト：認証に成功すると、ライトプロンプトが出力されます。 • 音声プロンプト：認証に成功すると、音声プロンプトが出力されます。 • HMI プロンプト：認証に成功すると、表示画面にプロンプトが表示されます。 • ウィーガンド出力：認証に成功すると、データはウィーガンドインターフェースを介して出力されます。
失敗リンケージ構成の確認	<p>オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ライトプロンプト：認証に失敗すると、ライトプロンプトが出力されます。 • 音声プロンプト：認証に失敗すると、音声プロンプトが出力されます。 • HMI プロンプト：認証に失敗すると、表示画面にプロンプトが表示されます。

• 顔ライブラリの変更

- (1) 必要な顔ライブラリを選択し、**編集**をクリックします。
- (2) 表示された**顔ライブラリの編集**インターフェースでは、[顔ライブラリの管理](#)を参考にしながら、パラメータを変更します。

図 7-33 顔ライブラリの編集インターフェース

顔ライブラリを編集します

顔ライブラリタイプ

顔ライブラリ名

チェックプレート

1:N一致しきい値

成功リンクージ設定を確認します

オープンドア 音声プロンプト HMIプロンプト ウィーガンド出力

失敗リンクージ設定を確認します

音声プロンプト HMIプロンプト

OK キャンセル

(3) **OK** をクリックして、変更を保存します。

- 顔ライブラリの削除

(1) 必要な顔ライブラリを選択して、**削除** をクリックします。

(2) 確認ボックスが表示されたら、**OK** をクリックして顔ライブラリを削除します。

顔ライブラリを削除すると、顔ライブラリ内のユーザーも削除されます。

2. 従業員情報の管理

- 従業員の追加

従業員を 1 人ずつ追加するか、一括でインポートできます。

- 従業員の追加

(1) **設定 > インテリジェント > 顔ライブラリ** を選択し、追加する従業員の顔ライブラリを選択します。

(2) 従業員リストバーにある、**追加** をクリックします。

(3) 表示された**顔情報を追加します**インターフェースでは、次の表を参考に、基本情報を設定します。

図 7-34 顔情報追加インターフェース

顔情報を追加します
✕

基本情報

*番号

*名前

カードタイプ1 ▼

カード番号1

カードタイプ2 ▼

カード番号2

備考

写真

+

ローカルアップロード

注：JPG形式のみがサポートされています。10-512Kサイズの画像を選択してください。画像の最大数は6です。

時間テンプレート

有効時間

有効期限

default

表 7-18 パラメータの設定

ペイン	パラメータ	説明と設定
基本情報	番号	入力は必須です。 従業員の番号を入力します。 条件：1～15文字（大文字と小文字の英字、数字、ハイフン、アンダーバーを使用できます）。
	名前	入力は必須です。 従業員の名前を入力します。
	カードタイプ1/カードタイプ2 カード番号1/カード番号2	カードタイプを選択し、カード番号を入力します。 カードタイプのオプションには、ICカード、IDカード、なしがあります。
	コメント	備考を入力します。
写真	/	ローカルアップロード をクリックします。表示されたインターフェースで、アップロードするローカルの顔写真を選択します。 写真の条件：サイズが10～512KBのjpg画像のみサポートしています。

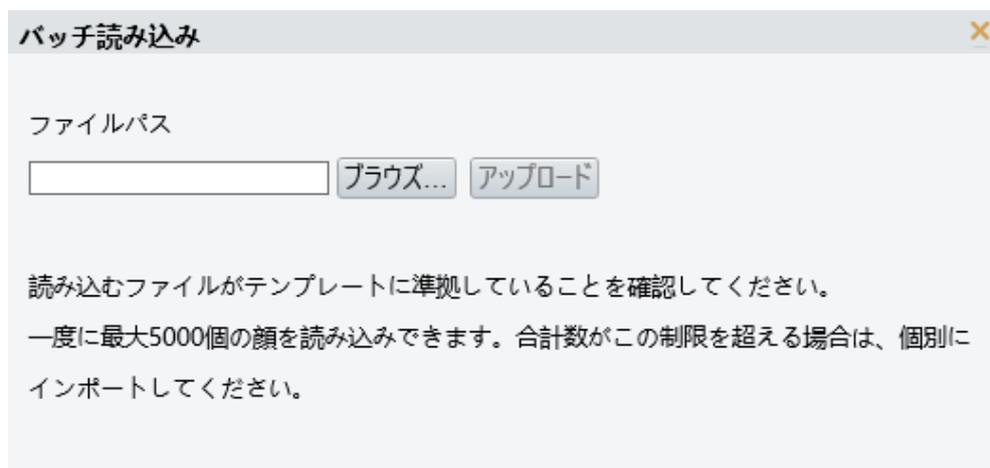
ペイン	パラメータ	説明と設定
タイムテンプレート	有効時間	タイムテンプレートを選択し、タイムテンプレートの有効時間と有効期限を設定します。
	有効期限	実際の状況に基づいて、タイムテンプレートの前にあるチェックボックスをオンにします。
	タイムテンプレート	<p>ヒント！</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数のタイムテンプレートがバインドされている場合、認証中にタイムテンプレートの結合が行われます。 バインドされたタイムテンプレートが有効期限内にない場合、認証に成功すると、「指定しない時間」というプロンプトが表示されます。

(4) **OK** をクリックして、追加を保存します。

○ 従業員情報の一括インポート

- (1) **設定 > インテリジェント > 顔ライブラリ** を選択し、追加する従業員の顔ライブラリを選択します。
- (2) **テンプレートエクスポート** をクリックして、インポート用テンプレートをローカルデバイスにダウンロードします。
- (3) テンプレートを解凍します。インポートテーブルで、条件に従って情報を入力します。
- (4) **一括インポート** をクリックして、インポートテーブルをアップロードします。

図 7-35 一括インポート



個人情報のインポートに失敗した場合、説明欄の失敗の原因を確認し、情報を修正してから、個人情報を再度インポートしてください。

- 従業員情報の変更
 - (1) 情報を変更する必要がある従業員の左上隅にあるチェックボックスを選択します。
 - (2) 下図のように、編集ボタンをクリックします。

図 7-36 編集のインターフェース



(3) 表示された編集インターフェースでは、[2. 従業員情報の管理](#)を参考に、基本情報を修正します。

(4) OK をクリックして、変更を保存します。

- 従業員の削除

従業員を 1 人ずつ削除するか、一括で削除できます。

- 従業員の削除

(1) 削除する従業員の左上にあるチェックボックスをオンにします。

(2) 下図のように、**削除**ボタンをクリックします。

図 7-37 削除インターフェース



(3) 削除確認ボックスが表示されたら、OK をクリックして削除を完了します。

- すべての従業員の削除

(1) **全てを選択します**の前にあるチェックボックスをオンにします。

図 7-38 すべての従業員を選択



(2) **削除** または  をクリックします。

(3) 確認ボックスが表示されたら、**OK** をクリックして削除を完了します。

- 従業員の検索

従業員情報は、番号または名前で検索できます。

図 7-39 検索ボックス



5. 詳細設定

設定 > インテリジェント > 詳細設定を選択します。

下の表を参考にしながら、パラメータを設定します。

図 7-40 詳細設定インターフェース

詳細設定

ドア開閉モード 認証 顔認証 リモート

QRコード検出 オフ オン (注: カード認証が必要です)

QRコードプロトコル プライベート サードパーティー

通話モード ▼

—ストレージの設定を記録します—

ストレージをバックアッ... オン オフ

—属性ルールの設定—

安全ヘルメット

認証が失敗し、ドアを開... オフ オン

マスク

認証が失敗し、ドアを開... オフ オン

温度測定

温度測定 額の温度を測定します 手首の温度を測定します 測定/手首温度

認証が失敗し、ドアを開... オフ オン

温度単位 ▼

温度測定範囲 ~

温度アラームしきい値

温度アラート オフ オン

温度アラートオフセット (温度アラートしきい値=温度アラームしきい値-温度アラートオフセット)

温度測定タイムアウトの... オフ オン

—アラーム出力設定—

高温アラーム オフ オン

マスクを着用していない... オフ オン

ブラックリストアラーム オフ オン

認証失敗アラーム オフ オン

保存

表 7-19 パラメータの説明と設定

項目		説明
ドアの開錠モード		<ul style="list-style-type: none"> ● 認証：ドア開閉モードが、認証に設定された後、本機は、従業員が 2. チェックテンプレート で認証に合格した後のみドアの開錠信号を生成します。 ● 顔：ドア開閉モードが、顔認証に設定された後、本機は、顔のスナップショット写真を検知すると、ドアの開錠信号を生成します。ホワイトリストライブラリが設定されている場合、ホワイトリストに登録された従業員に対して顔照合が行われ、成功のプロンプトが表示されます。ホワイトリストに登録されていない従業員の顔をスキャンしても、GUI 上にプロンプトは表示されません。 <p>実際のアプリケーションシーンに基づいて、パラメータを設定します。</p>
QRコード検知		<ul style="list-style-type: none"> ● オフ：オフに設定すると、本機のカメラは QR コードに関するデータを収集しません。 ● オン：オンに設定し、IC カードが 2. チェックテンプレート に含まれている場合、本機のカメラは QR コードに関するデータを収集し、認証を行います。 <p>実際のアプリケーションシーンに基づいて、パラメータを設定します。</p>
QRコードプロトコル		<ul style="list-style-type: none"> ● プライベート プライベートに設定すると、本機は QR コードに関するデータをローカルで分析します（このプロトコルは、カメラまたは QR コードスキャナーを使用して収集する場合に適用されます）。 ● サードパーティ サポートされていません。
通話モード		サポートされていません。
録画ストレージ設定	バックアップストレージ	<p>オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値はオフです。</p> <p>オンをクリックした後は、本機はローカルメモリーに録画を記録します。</p> <p>オプションを切り替えると、本機はローカルストレージをクリアして再起動します。</p>
属性ルールの設定	安全ヘルメット	<p>検知に失敗した場合、ドアを開錠する</p> <p>オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値はオフです。</p> <p>オンをクリックした後、本機が安全ヘルメットを着用していないことを検知すると、GUI上にプロンプトが表示され、音声プロンプト（安全ヘルメットを着用してください）が再生されますが、ドアの開錠には影響しません。</p> <p>オフをクリックした後、本機が安全ヘルメットを着用していないことを検知すると、GUI上にプロンプトが表示され、音声プロンプト（安全ヘルメットを着用してください）が再生され、ドアは開きません。</p>
	マスク	<p>検知に失敗した場合、ドアを開錠する</p> <p>オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値はオフです。</p> <p>オンをクリックした後、本機がマスクを着用していないことを検知すると、GUI上にプロンプトが表示され、音声プロンプト（マスクを着用してください）が再生されますが、ドアの開錠には影響しません。</p>

項目		説明
		オフをクリックした後、本機がマスクを着用していないことを検知すると、GUI上にプロンプトが表示され、音声プロンプト（マスクを着用してください）が再生され、ドアは開きません。
温度測定	温度測定	設定する必要はありません。本機が体表温度測定モジュールに接続されている場合、温度測定モードが自動的に表示されます。
	認証に失敗、ドアを開錠	オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値はオフです。 オンをクリックした後、体表温度測定モジュールが事前設定された温度アラームのしきい値を温度が超えたことを検知すると、GUIにプロンプトが表示され、音声プロンプト（異常な温度）が再生されますが、ドアの開錠には影響しません。 オフをクリックした後、体表温度測定モジュールの測定温度が事前設定された温度アラームのしきい値を超えると、GUI上にプロンプトが表示され、音声プロンプト（please wear a mask）が再生され、ドアは開きません。
	温度単位	オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • °C • °F 実際のシーンに応じてパラメータを設定します。
	温度管理範囲	値の範囲：[30~45]、デフォルトの範囲：[35.5~42] 実際のアプリケーションシーンに基づいて、範囲を設定します。
	温度アラームしきい値	デジタル検知モジュールは、ここで設定したしきい値より高い温度を検知した場合、GUIに「異常な温度」の警告が表示され、警告音が鳴ります。 値の範囲：[30~45]、デフォルト値：37.3
	温度アラート	オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値はオフです。 温度アラートをオンにした後、温度が温度アラートのしきい値と温度アラームのしきい値の範囲内にある場合、高温アラームが表示され、再検知しなければならないことを知らせます。
	温度アラートオフセット	温度アラートのしきい値 = 温度アラームのしきい値 - 温度アラートオフセット
温度測定タイムアウトの方針		オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値はオンです。 この機能をオンにした場合、顔をスキャンし、その画像がライブビューに残っていても、10秒間温度が計測されない場合、GUIと警告音がプロンプトして温度計測がタイムアウトします。
アラーム出力設定	高温アラーム	オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値はオフです。 高温アラームをオンにした後、体表温度測定モジュールが高温を検知すると、本機は高温アラームを出力します。
	マスク未着用アラーム	オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値はオフです。 マスク未着用アラームをオンにした後、マスクを着用していない人を検知すると、本機はマスク未着用アラームを出力します。
	ブラックリストアラーム	オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値はオフです。 ブラックリストアラームをオンにした後、ブラックリストに載っ

項目	説明
	ている人が検知されると、本機はブラックリストアラームを出力します。
認証失敗アラーム	オプションはオンとオフです。実際の条件に応じてパラメータを設定してください。デフォルト値はオフです。 認証失敗アラームをオンにした後、顔認証とカード認証に失敗すると、本機は、認証失敗アラームを出力します。

6. 認識結果の表示

認識結果の表示インターフェースを使用すると、顔認識に成功した後、従業員の登録済みの写真と名前を本機のインターフェースに表示するかどうかを設定できます。

(1) 設定 > 共通 > スマートスナップショットを選択し、認識結果表示タブをクリックします。

図 7-41 認識結果表示インターフェース

(2) 次の表を参考に、認識結果の表示を設定します。

表 7-20 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
認識結果の表示	<ul style="list-style-type: none"> 写真：本機は、顔認識に成功すると、登録されている人物の写真を表示します。 スナップショット：本機は、顔認識に成功すると、キャプチャした人物の写真を表示します。 非表示：本機は、顔認識に成功すると、登録されている人物の写真を表示されません。 <p>実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。</p>
写真の数の表示	<ul style="list-style-type: none"> 単一の顔：顔認識に成功すると、GUI上に認識された単一の人物に関する情報のみを表示します。 複数の顔：顔認識に成功すると、GUI上に認識された複数の人物に関する情報を表示します。最大で、認識に成功した直近5名に関する情報を表示できます。認識に成功した直近1名に関する情報

パラメータ		説明と設定
		報が、画面の左側に表示されます。 実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。デフォルトでは、 単一の顔 に設定されています。
	名前	<ul style="list-style-type: none"> デフォルト: 本機は、顔認識に成功すると、登録されている人物の名前を表示します。 暗号表示: 本機は、顔認識に成功すると、登録されている人物の写真を暗号表示します。 カスタム: 顔認識に成功すると、本機は、従業員の名前ではなく、ここで定義した情報を表示します。 カスタムボックスには、0~10文字の文字列を入力できます。 実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。
	拡張情報	<ul style="list-style-type: none"> 表示時間: 本機は現在のシステム時刻を表示します。 備考: 本機は、顔認識に成功すると、登録されている人物の備考を表示します。 非表示: 本機は、顔認識に成功すると、時間も登録されている人物の備考も表示しません。
	認識結果メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> デフォルト: 顔認識に成功すると、本機に「特定に成功しました」と表示されます。 カスタム: 顔認識に成功すると、本機に「認識に成功しました」と表示されます。 実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。
温度測定人数カウント		<ul style="list-style-type: none"> 表示: 本機は、温度を測った人数と平熱の人数の合計を表示します。 非表示: 本機は、温度を測った人数と平熱の人数の合計を表示しません。 実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。
IP アドレス		<ul style="list-style-type: none"> 表示: 本機の IP アドレスを表示します。 非表示: 本機の IP アドレスを表示しません。 実際の条件に基づいて、パラメータを設定します。
温度ガイド写真		隠すに固定設定します。

(3) **保存** をクリックして、設定を保存します。

7.2.5 イベント

アラームの作動を設定して、アラームレポートを実行できます。他のデバイスのトリガーアクションを設定することで、アラームは1種類以上のアクションをトリガーできるため、ユーザーはアラームとそれに対応するアクションをその時間内で処理できます。

アラームの作動には、火災アラーム、分解防止アラーム、ドアマグネットアラームが含まれます。

1. 火災アラーム

本機が火災警報器に接続している場合、火災アラームが発生すると、本機は火災アラームレコードを生成します。

(1) **設定 > イベント > イベント** を選択し、**火災アラーム** をクリックします。

図 7-42 火災アラームの設定インターフェース

アラーム名
 アラームID
 アラームタイプ ▼
 アラーム入力 オン オフ

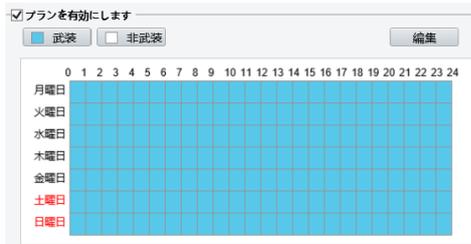
-トリガーアクション-
 電子メールトリガー スナップショット オープンドア

プランを有効にします

武装 非武装

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月曜日																									
火曜日																									
水曜日																									
木曜日																									
金曜日																									
土曜日																									
日曜日																									

- (2) 火災アラーム情報を設定します。
 - a. アラームを選択し、アラーム名を設定します。
 - b. サードパーティアラーム入力デバイスのタイプに応じて、**N.O.**または**N.C.**を選択します。たとえば、サードパーティアラーム入力デバイスがノーマルオープンの場合、ここで**N.O.**を選択します。すると、カメラは、サードパーティアラーム入力デバイスからアラームを受信できます。
 - c. アラーム入力を有効にするかどうかを選択します。**アラーム入力**が**オン**に設定されている場合、本機は火災警報器からアラームを受信します。**オフ**に設定されている場合、本機は火災警報器からのアラームを受信しません。
- (3) 火災アラームに関連付けるアクションを設定します。
 火災アラームは、本機のスナップショットとドアの開錠動作に関連付けることができます。実際のシーンに基づいて、2つの機能を有効にするかどうかを選択します。
- (4) 作動スケジュールを有効にするかどうかを設定します。
プランの有効化 チェックボックスをオンにし、アラームの開始時刻と終了時刻を設定します（**編集** をクリックします）。時間帯は重複できません。デバイスは、事前設定された有効な時間帯のみアラーム信号を出力します。
 日付のオプションには月曜日から日曜日が含まれ、各日付の時刻は4つの時間帯を使用して定義されます。
 1日の予定時刻を設定した後、**コピー** をクリックしてから **貼付** をクリックして、予定時刻を他の日にコピーできます。



マウスを使用して作動時間を記入

作動時刻を設定するためのテーブルの編集

(5) **保存**をクリックします。

2. 分解防止アラーム

本機には分解防止ボタンがあり、分解防止アラームを本機に入力できます。

(1) **設定 > イベント > イベント**を選択し、**分解防止アラーム**をクリックします。

図 7-43 分解防止アラームの設定インターフェース

アラーム名

アラームID

アラームタイプ ▼

アラーム入力 オン オフ

トリガーアクション

スナップショット

プランを有効にします

武装 非武装 編集

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
月曜日																										
火曜日																										
水曜日																										
木曜日																										
金曜日																										
土曜日																										
日曜日																										

(2) 分解防止アラームに関する基本情報を設定します。

- a. アラームを選択し、アラーム名を設定します。
- b. アラームタイプを選択します。分解防止アラーム入力がノーマルオープンタイプかノーマルクローズタイプかによって、**アラームタイプ**を **N.O.**または **N.C.**に設定します。
- c. アラーム入力を有効にするかどうかを選択します。**アラーム入力**が **オン**に設定されている場合、本機は分解防止アラームを受信します。**オフ**に設定されている場合、本機は分解防止アラームを受信しません。

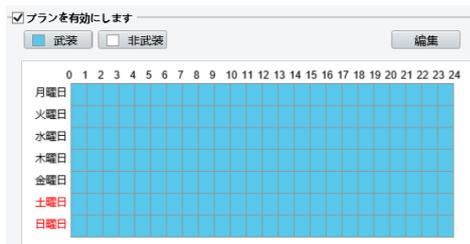
- (3) 分解防止アラームに関連付けるアクションを設定します。
- (4) 分解防止アラームは、本機のスナップショットアクションに関連付けることができます。実際のシーンに基づいて、機能を有効にするかどうかを選択します。

作動スケジュールを有効にするかどうかを設定します。

プランの有効化 チェックボックスをオンにし、アラームの開始時刻と終了時刻を設定します（**編集** をクリックします）。時間帯は重複できません。デバイスは、事前設定された有効な時間帯のみアラーム信号を出力します。

日付のオプションには月曜日から日曜日が含まれ、各日付の時刻は4つの時間帯を使用して定義されます。

1日の予定時刻を設定した後、**コピー** をクリックしてから **貼付** をクリックして、予定時刻を他の日にコピーできます。



マウスを使用して作動時間を記入



作動時刻を設定するためのテーブルの編集

- (5) **保存** をクリックします。

3. ドアマグネットアラーム

本機がドアマグネットに接続すると、ドアマグネットアラームを受信できます。

- (1) **設定** > **イベント** > **イベント** を選択し、**ドアマグネットアラーム** をクリックします。

図 7-44 ドアマグネットアラームの設定インターフェース

アラーム名

アラームID

アラームタイプ ▼

アラーム入力 オン オフ

トリガーアクション

スナップショット

プランを有効にします

武装 非武装

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月曜日																									
火曜日																									
水曜日																									
木曜日																									
金曜日																									
土曜日																									
日曜日																									

- (2) ドアマグネットアラームに関する基本情報を設定します。
 - a. アラームを選択し、アラーム名を設定します。
 - b. アラームタイプを選択します。接続されているアラーム入力デバイスがノーマルオープンタイプかノーマルクローズタイプかによって、**アラームタイプ**をN.O.またはN.C.に設定します。たとえば、ノーマルオープンのアラーム入力デバイスの場合、本機が接続されたデバイスからのアラームを正常に受信できるように、**アラームタイプ**をN.O.に設定する必要があります。
 - c. アラーム入力を有効にするかどうかを選択します。**アラーム入力**が**オン**に設定されている場合、本機はドアマグネットアラームを受信します。**オフ**に設定されている場合、本機はドアマグネットアラームを受信しません。
- (3) オフに設定されている場合、端末はドアマグネットアラームを受信しません。
 ドアマグネットアラームは、端末のスナップショットアクションに関連付けることができます。実際のシーンに基づいて、機能を有効にするかどうかを選択します。
- (4) 作動スケジュールを有効にするかどうかを設定します。
プランの有効化 チェックボックスをオンにし、アラームの開始時刻と終了時刻を設定します（**編集**をクリックします）。時間帯は重複できません。デバイスは、事前設定された有効な時間帯のみアラーム信号を出力します。
 日付のオプションには月曜日から日曜日が含まれ、各日付の時刻は4つの時間帯を使用して定義されます。

1日の予定時刻を設定した後、コピーをクリックしてから貼付をクリックして、予定時刻を他の日にコピーできます。



マウスを使用して作動時間を記入

作動時刻を設定するためのテーブルの編集

(5) **保存**をクリックします。

4. セキュリティゲートアラーム

本機がドアマグネットに接続すると、セキュリティゲートアラームを受信できます。

(1) **設定> イベント> イベント**を選択し、**セキュリティゲートアラーム**をクリックします。

(2) セキュリティゲートアラームに関する基本情報を設定します。

- a. アラームを選択し、アラーム名を設定します。
- b. アラームタイプを選択します。接続されているアラーム入力デバイスがノーマルオープンタイプかノーマルクローズタイプかによって、**アラームタイプ**を**N.O.**または**N.C.**に設定します。たとえば、ノーマルオープンのアラーム入力デバイスの場合、本機が接続されたデバイスからのアラームを正常に受信できるように、**アラームタイプ**を**N.O.**に設定する必要があります。
- c. アラーム入力を有効にするかどうかを選択します。**アラーム入力**が**オン**に設定されている場合、本機はドアマグネットアラームを受信します。**オフ**に設定されている場合、本機はドアマグネットアラームを受信しません。

(3) **保存**をクリックします。

7.2.6 ストレージ

1. ストレージ

設定> ストレージ> ストレージをクリックします。



ヒント！

- ストレージインターフェイスのデフォルト値を保持します。変更は禁止
- 書式設定は禁止。

ストレージ

ストレージメディア 有効にします

ストレージメディアのステータス： 正常

総容量 13756 MB, スマートスナップショットストレージの残り容量 8334 MB, 顔ライブラリストレージの残り容量 5372 MB.

容量を割り当てます

ビデオ(MB) (残り容量は画像保存に使用されます。)

一般的なスナップショット... (残りの容量はスマートスナップショットストレージに使用されます。)

スマートスナップショット...

顔ライブラリストレージ...

ビデオストレージ情報

ストレージポリシー 手動保管 オフ

ストリーム

ストレージがいっぱいの... 上書き ストップ

ポストレコード

2. FTP

FTP を使用して、設定したルールに従って画像を FTP サーバーにアップロードします。

1. スマート

- (1) **設定 > ストレージ > FTP** を選択し、**スマート** をクリックします。
- (2) 下の表を参考にしながら、**パラメータ** を設定します

- **サーバーパラメータ**

パラメータ	説明と設定
サーバーIP	画像を受信するFTPサーバーのアドレスです。
ポート番号	デフォルト値は21です。必要に応じて値を変更します。
ユーザー名	FTPサーバーに接続するために使用されるユーザー名です。
パスワード	FTPサーバーに接続するために使用されるパスワードです。
ディレクションID	デフォルト設定を使用します。
アップロードする写真ではありません	選択する必要はありません
命名規則をカスタム	このオプションが選択されていると、ファイル名のカスタムフィールドが許可されません。
パスをUTF8フォーマットに変換	選択する必要はありません。

- スナップショット画像

- ルートディレクトリに保存

- ディレクトリレベルは4つまで許可されています。
 - ディレクトリのレベルごとに以下の命名要素を設定できます。

パラメータ	説明と設定
IPアドレス	本機のIPアドレスを使用し、フォルダに名前をつけます。
日付	短い日付（yyyyMMdd）を使用し、フォルダに名前をつけます。
デバイスID	本機のIDを使用し、フォルダに名前をつけます。
日付+時間	長い日付（yyyyMMddhh）を使用し、フォルダに名前をつけます。
日付-YYYY	年（yyyy）を使用し、フォルダに名前をつけます。
日付-MM	月（MM）を使用し、フォルダに名前を付けます。
日付-DD	日（dd）を使用し、フォルダに名前を付けます。
時間-時分	時分（hhmm）を使用し、フォルダに名前をつけます。
時間-時	時（hh）を使用し、フォルダに名前をつけます。
時間-分	分（mm）を使用し、フォルダに名前をつけます。
カスタム	フィールドをカスタマイズします。カスタムを選択し、希望の内容を入力します。

- ファイル名設定

- 分割機能：命名要素を結合するのに使用します。
 - 命名要素については、次の表に説明します。

パラメータ	説明と設定
IPアドレス	本機のIPアドレスを表示します。
時間	年、月、日、時、分、秒を含めた時間を表示します。
日付	日付（yyyyMMdd）を表示します。
IDデバイスのID	本機のIDを表示します。
ダイレクションID	設定はサポートされていません。
写真番号	画像のシーケンス番号を自動インクリメントします。
日付+時間	年、月、日、時（yyyyMMddhh）を表示します。
日付-YYYY	年（yyyy）を表示します。
日付-MM	月（mm）を表示します。
日付-DD	日（dd）を表示します。
時間-時分	時分（hhmm）を表示します。
時間-時	時（hh）を表示します。
時間-分	分（mm）を表示します。
時間 秒	秒（ss）を表示します。
フレームID	設定はサポートされていません。
4桁のランダム番号	ランダムに生成される4桁の番号です。

パラメータ	説明と設定
写真の合計	設定はサポートされていません。
カスタム	フィールドをカスタマイズします。カスタムを選択し、希望の内容を入力します。 命名規則のカスタム を選択し、パラメータを設定します。

(3) 一般

サポートされていません。

7.2.7 セキュリティ

1. ユーザー

ユーザー設定については、[1. ユーザー](#) を参照してください。

2. ネットワークセキュリティ

セキュリティ情報の送信を設定後、情報セキュリティチャネルを確立して、データ送信のセキュリティを確保できます。

1. HTTPS

(1) **設定 > セキュリティ > ネットワークセキュリティ > HTTPS** をクリックします。

図 7-45 HTTPS 設定インターフェース

(2) **HTTPS** で**オン**を選択します。必要に応じてカスタム SSL 証明書をインポートすることができます。

(3) **保存** をクリックします。

次にログインするときは、https://IP:HTTPS ポート番号の形式でアドレスを入力します。たとえば、https://192.168.1.13:443 を使用して、セキュアチャネルモードに入ります。デフォルト HTTPS ポートを使用する場合は、https://IP。

2. RTSP 認証

RTSP（リアルタイムストリーミングプロトコル）はアプリケーションレイヤープロトコルです。音声とビデオを送信して制御するには、ウェブインターフェースで RTSP 認証を設定します。

(1) **設定 > セキュリティ > ネットワークセキュリティ > RTSP 認証** をクリックします。

(2) 認証モードを選択します。

図 7-46 パラメータの説明と設定

パラメータ	説明と設定
RTSP認証	オプションは、 基本 、 ダイジェスト 、および なし です。 デフォルト値は ダイジェスト です。
HTTP認証	オプションには、 ダイジェスト と なし があります。 デフォルト値は なし です。

図 7-47 RTSP 認証設定インターフェース

RTSP認証	ダイジェスト
HTTP認証	なし
<input type="button" value="保存"/>	

- (3) **保存**をクリックします。

3. ARP 保護

この機能は、ARP 攻撃からカメラを保護します。ゲートウェイと MAC アドレスを適切に設定しなければ、PC は別のネットワークからカメラにアクセスできません。MAC が間違っていて設定された場合、同じ LAN 上の PC しかアクセスできません。

- (1) **設定 > セキュリティ > ネットワークセキュリティ > ARP 保護**をクリックします。

図 7-48 ARP 保護設定インターフェース

ARP保護	<input type="radio"/> オン <input checked="" type="radio"/> オフ
ゲートウェイ	204.4.1.1
ゲートウェイMACアドレス	0
<input type="button" value="保存"/>	

- (2) チェックボックスを選択して ARP バインディング機能を有効にし、ゲートウェイの MAC アドレスを設定します。
- (3) **保存**をクリックします。

4. IP アドレスフィルタリング

IP アドレスフィルタリングを使用して、指定の IP アドレスからのアクセスを許可または禁止します。



ヒント！

この機能は一部のモデルではサポートされません。詳細については、実際のモデルをご覧ください。

- (1) **設定 > セキュリティ > ネットワークセキュリティ > IP アドレスフィルタリング** をクリックします。

図 7-49 IP アドレスフィルタリング設定インターフェース

IPアドレスのフィルタリ... オン オフ

フィルタリングモード ▼

番号	IPアドレス	+

- (2) **オン**を選択して IP アドレスフィルタリングを有効にします。
- (3) フィルタリングモードを選択し、IP アドレスを追加します。
- (4) **保存**をクリックします。



ヒント！

- Filtering Mode が Whitelist に設定されている場合、追加された IP アドレスのみがカメラにアクセスできます。Filtering Mode が Deny Access に設定されている場合、追加された IP アドレスのみがカメラにアクセスできなくなります。
- IP アドレスは 32 個まで追加できます。各 IP アドレスは 1 回しか追加できません。
- 各 IP アドレスの最初のバイトは 1~223 でなければならず、第 4 バイトは 0 にできません。たとえば、次の IP アドレスは不正ですので追加できません：0.0.0.0, 127.0.0.1, 255.255.255.255, 224.0.0.1.

5. アクセスポリシー

- (1) **セットアップ** > **セキュリティ** > **ネットワークセキュリティ** > **アクセスポリシー**をクリックします。
- (2) **オン**を選択し、フレンドリーパスワードを有効にします。
 - フレンドリーパスワード: フレンドリーパスワードが有効な場合、脆弱なパスワードでのログインが許可されます。フレンドリーパスワードが無効な場合、脆弱なパスワードでのログインが許可されず、ログインが許可されるには強固なパスワードを設定する必要があります。
 - MAC 認証: この設定はサポートされていません。

図 7-50 アクセスポリシー設定インターフェース

わかりやすいパスワード オン オフ

MAC認証 オン オフ

- (3) **保存**をクリックします。



ヒント！

フレンドリーなパスワードを有効にしても使用法は変わりません。これをオフにして弱いパスワードでログインすると、ページがポップアップ表示され、パスワードを変更するよう指示されます。このページには Cancel や Close のボタンはありません。デフォルトパスワードは弱いパスワードと見なされます。

3. 登録情報

サポートされていません。

4. デジタルウォーターマーク

サポートされていません。

7.2.8 システム

1. 時間

時間の設定については、[1. 時間](#)を参照してください。

2. サーバー

時間の設定については、[2. サーバー](#)を参照してください。

3. ポートとデバイス

ポートとデバイスの設定については、[3. ポートとデバイス](#)を参照してください。

4. メンテナンス

4A. ソフトウェアの更新

(1) **セットアップ > システム > メンテナンス**をクリックします。

図 7-51 ローカルアップグレードインターフェース

ソフトウェアの更新

ローカルアップグレード ブートプログラムのアップグレード

クラウドのアップグレード

4B. **ソフトウェアの更新**で**ブラウズ**をクリックし、適切なアップグレードファイルを選択します。

4C. **アップグレード**をクリックし、アップグレードの開始を確認します。アップグレードが完了すると、カメラは自動的に再起動します。



ヒント！

- 必ず、お使いのカメラに適したアップグレードファイルを使用してください。
- アップグレードファイルは ZIP ファイルで、必要なファイルがすべて含まれています。
- アップグレード中は、必ず電源を接続してください。アップグレードが完了すると、デバイスは自動的に再起動します。

4D. デバイス再起動

(1) **セットアップ > システム > メンテナンス**をクリックします。

図 7-52 再起動の設定インターフェース

4E. **デバイス再起動**で**再起動**をクリックします。操作を確定すると、デバイスが再起動します。

4F. **自動再起動を有効にする**を選択して、再起動の時点を設定できます。その後、デバイスはその時点で自動的に再起動します。



注意！

システムを再起動すると現在実行中のサービスが中断しますので、この操作は十分注意して実行してください。

デバイスの自動再起動時点は、サービスを継続せずにアイドル時間に設定することをお勧めします。

4G. システム設定

- 工場出荷時のデフォルトに戻す

デフォルトをクリックすると、管理者ログインパスワード、ネットワークポートパラメータ、システム時間、管理者パスワード、アクティベーションパスワードを除くすべてのパラメータが工場出荷時のデフォルトに復元されます。



ヒント！

工場出荷時のデフォルトに戻すと、アクティベーションパスワードを変更するように求めるプロンプトが GUI に表示されます。

- 工場出荷時のデフォルトに完全に戻す

現在のネットワークとユーザー設定を維持せずにすべての設定をデフォルトに戻すを選択すると、すべてのパラメーターが工場出荷時のデフォルトに戻ります。

- システム設定ファイルのインポートとエクスポート

カメラの現在の設定をエクスポートして、PC または外部ストレージメディアに保存します。PC または外部ストレージメディアに保存したバックアップ設定をカメラにインポートすると、速やかに設定を復元することができます。



注意！

- デフォルト操作を実行すると、システム管理者のログインパスワード、ネットワーク設定、システム時刻を除く設定が、すべて工場出荷時のデフォルト設定になります。
- 設定ファイルのインポートが成功すると、カメラが再起動します。

(1) **セットアップ > システム > メンテナンス**をクリックします。

図 7-53 インポート/エクスポートの設定インターフェース

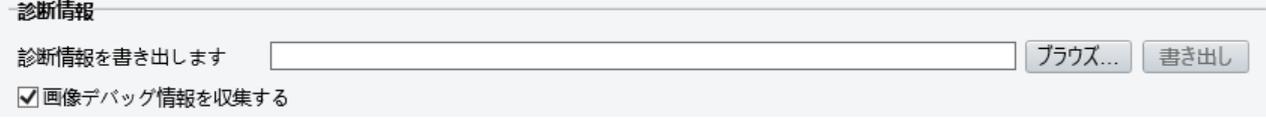
- 4H. バックアップした設定をインポートするには、インポートボタンの横の**ブラウズ**ボタンをクリックし、インポートしたい設定を選択し、**インポート**をクリックします。結果が表示されます。
- 4I. 現在のシステム設定をエクスポートするには、**ブラウズ**（書き出し中フィールドの横）をクリックし、エクスポート先を設定し、**読み込み**をクリックします。
- 4J. デフォルト設定を復元するには、**デフォルト**をクリックし、操作を確定します。デバイスが再起動し、デフォルト設定に復帰します。チェックボックスを選択して**デフォルト**をクリックすると、デバイスは工場出荷設定になります。

4K. 診断情報の収集

診断情報には、ログやシステム設定が含まれます。PCに診断情報をエクスポートすることができます。

- (1) **セットアップ > システム > メンテナンス**をクリックします。

図 7-54 診断情報収集インターフェース



- 4L. **エクスポート**をクリックします。表示されるダイアログで、情報を格納するローカルディレクトリを選択します。



ヒント！

- 圧縮ファイルの形で、ローカルフォルダに診断情報がエクスポートされます。WinRARなどのツールでファイルを解凍し、テキストエディタでファイルを開く必要があります。
- 画像デバッグ情報の収集を選択すると、デバッグ情報のあるビデオが表示されるので、故障診断が容易になります。

4M. 体表温度測定モジュールのメンテナンス

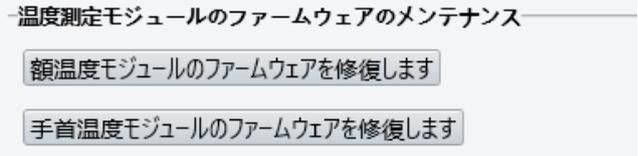
体表温度測定モジュールのメンテナンスで、体表温度測定モジュールを修復できます。

- (1) **セットアップ > システム > メンテナンス**をクリックします。

- 4N. 体表温度測定モジュールのメンテナンスで修復を希望する、前額の温度モジュールのボタンをクリックします。

- 4O. 表示されるダイアログで、OKをクリックしてメンテナンスを完了します。

図 7-55 温度モジュールのメンテナンス



8 よくある質問

- (1) 初めて Windows 7 以降の PC でログインしたときに、ActiveX をインストールするよう指示するメッセージが表示されないのですが、どうしたらよいですか

回答：次の手順で UAC をオフにし、再度ログインしてください。

- a. **開始**ボタンをクリックし、**コントロールパネル**をクリックします。
- b. 検索ボックスに uac と入力し、**ユーザアカウント設定変更**をクリックします。
- c. スライダーを**非通知**の位置に移動し、**OK** をクリックします。
- d. UAC がオフになったら、再度ログインします。

4P. ActiveX のインストールに失敗しましたが、どうしたらよいですか

回答：インストールが失敗したら、次のように、信頼できるサイトとしてカメラの IP アドレスを追加します：IE で**インターネットオプション**を開き、**セキュリティタブ**をクリックし、**信頼できるサイト**をクリックし、**サイト**をクリックしてウェブサイトを追加します。

Windows 7 以降の PC を使用する場合、まず PC に **setup.exe** を保存し、ファイルを右クリックし、**管理者として実行**を選択し、指示に従ってインストールします。

4Q. 初めてログインしたときにライブビデオが表示できませんでしたが、どうしたらよいですか

回答：PC のファイヤーウォールを閉じ、ウェブインターフェースに再度ログインしてください。



株式会社ティーピーアイ
〒104-0031
東京都中央区京橋 2-2-1
京橋エドグラン 28F

■修理・操作説明連絡先

受付時間 9:00~12:00/13:00~17:00

(土日、祝日/年末年始を除く)

フリーダイヤル

0120-065-011

ホームページアドレス

<http://www.tbeye.com>